

点字利用と読書に関する アンケート調査報告書

点字利用者の読書意識、点字利用の実態を
把握するために

【製作】点字利用と読書に関するアンケート調査委員会

2014/10/18

1. 調査概要

1-1 調査目的

点字利用者の読書意識や点字利用の実態を把握し、当館の図書製作に活用するとともに、点字図書や点字が今後どのような使い方、使われ方が良好なコミュニケーションツールとして展開できるかを探る手がかりにする。また、利用者に点字を使うことによるメリットを聞き、点字普及の材料とする。

1-2 調査対象

日本点字図書館(以下、日点)の利用者 600人
(直近5年間で点字図書を借りた人)

1-3 調査方法

調査対象者に点字のアンケート調査票を郵送。また、メール、大活字版を準備し、希望者に送付した。

1-4 調査期間

平成 25 年 10 月 5 日～10 月 22 日

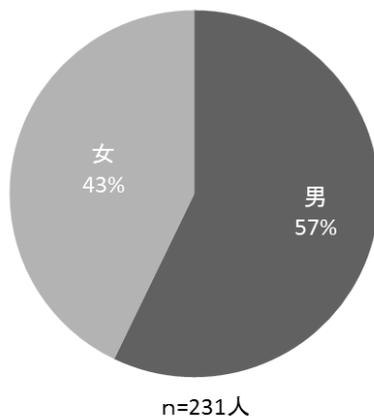
1.4 回答者数

231人(回収率 39%)

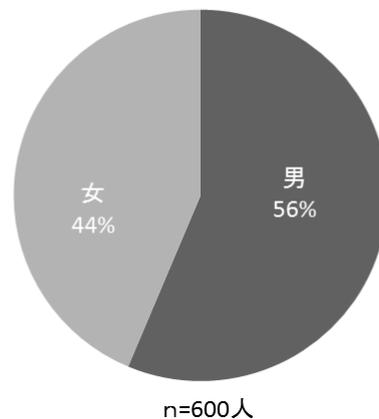
2. 回答者のプロフィール

2-1 性別

男女比(アンケート回答者)



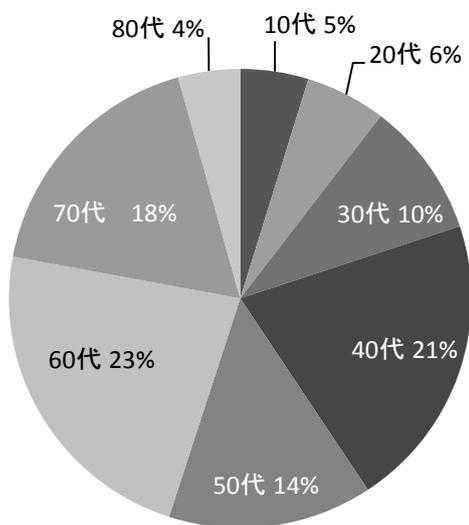
男女比(調査対象者)



アンケート回答者の男女比は、およそ6対4。今回の調査対象者(調査票を配布した600人)とほぼ同じである。

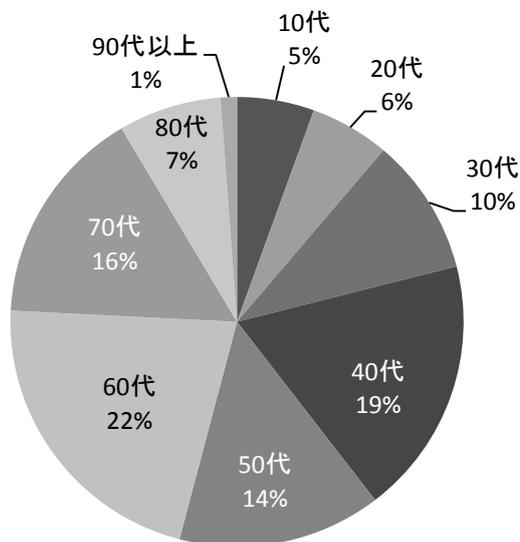
2-2 年齢

年齢比率(アンケート回答者)



n=231人

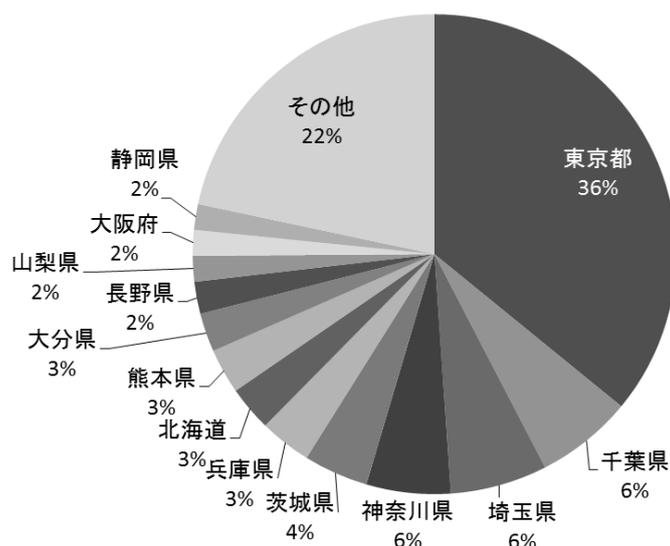
年齢比率(調査対象者)



n=600人

アンケート回答者と調査対象者を年代別に比較すると、アンケート回答者の方が40代は+2%、60代は+1%、70代は+2%、80代は-3%、90代以上が-1%となっている。全体としてアンケート回答者の方が40~70代の回答が多少多く、80代以上の回答が多少少ない傾向にあるが、ほぼ同じ年齢構成と言える。

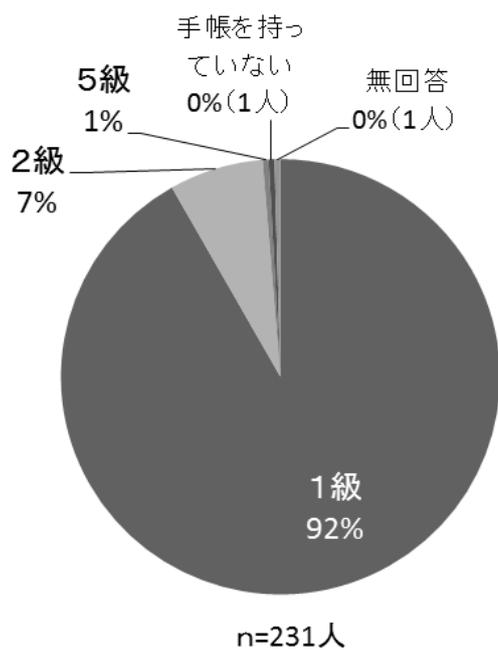
2-3 居住地域



n=231人

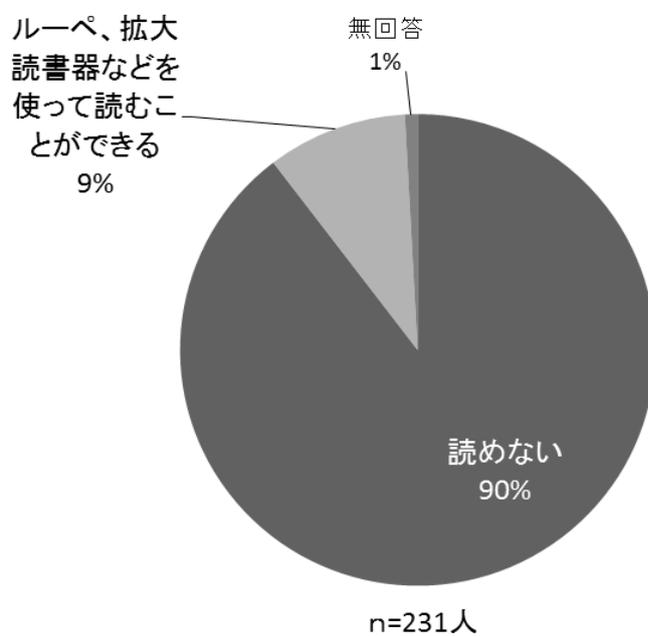
回答者の居住地域は、東京、千葉、埼玉、神奈川、茨城県で、全体の約6割を占める。

2-4 障害程度等級

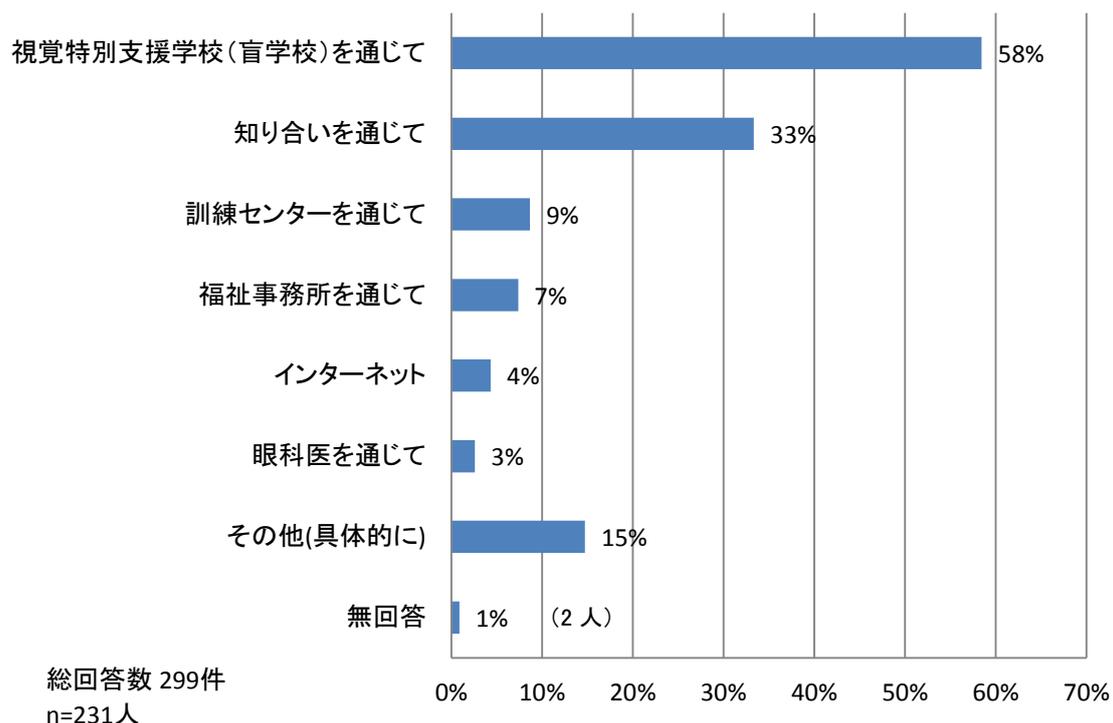


1,2 級の重度視覚障害者が 99%を占める

2-5 墨字は読めますか？

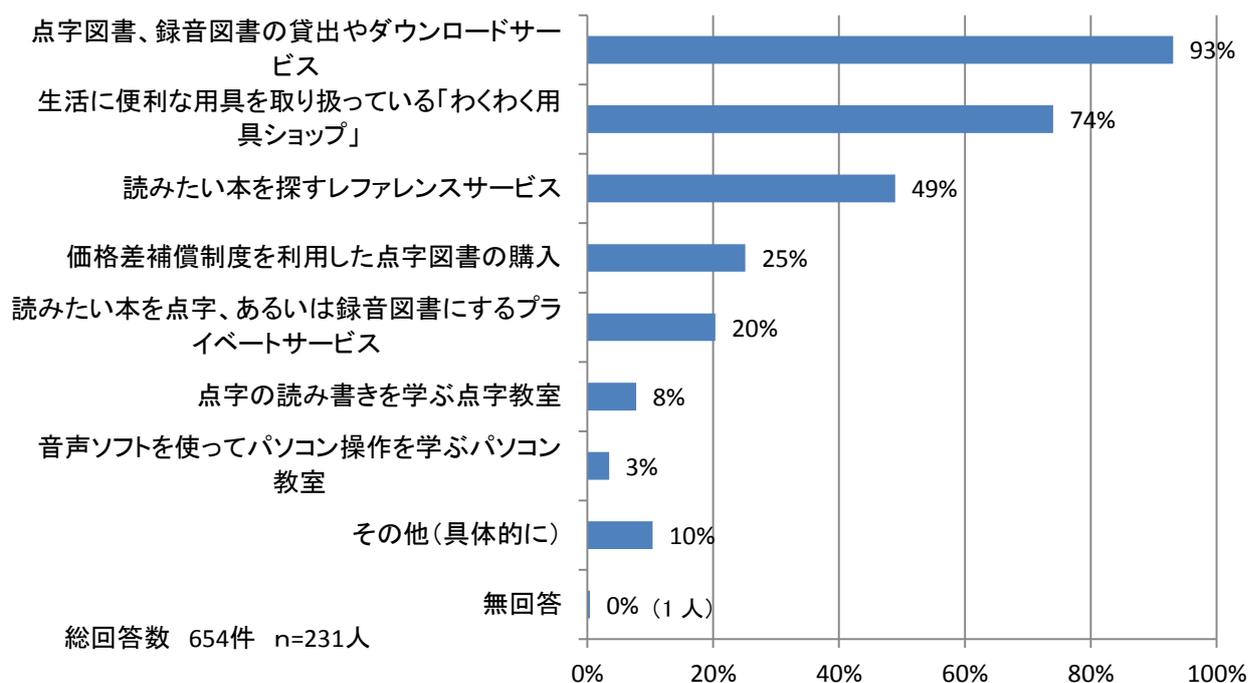


2-6 日点をどのように知りましたか？（複数回答）



日点を知るきっかけは「視覚特別支援学校」が58%と最も多く、次に「知り合いを通じて」が33%であった。「訓練センター」や「福祉事務所」はそれぞれ全回答者の10%以下、「眼科医を通じて」は3%であった。

2-7 日点で利用しているサービス（複数回答）



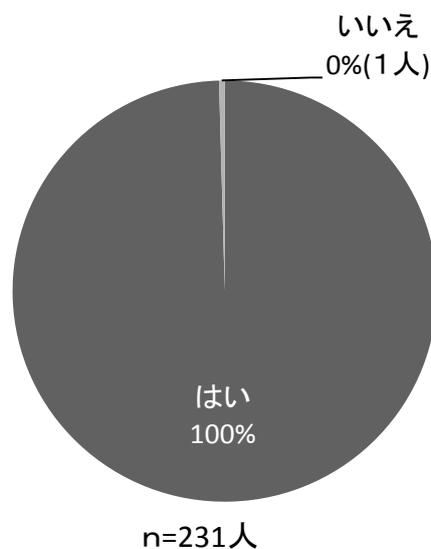
その他の回答

n=24 人

No	分類	件数
1	音声解説付きDVD上映体験	7
2	日点で開催しているサークル活動	2
3	見えにくさの相談	2
4	待ち合わせ場所としても利用	1
5	携帯電話の機種がわからないので電話で教えてもらった	1
6	熊本県点字図書館を通じて	1
7	各種体験会	1
8	点字雑誌の閲覧	1
9	点字教室	1
10	「ちょっとした小旅行」、「気晴らし」を兼ねて、日点へ外出することが多い。	1
11	ゲーム大会	1
12	カレンダーをもらう	1
13	イベントへ参加	1
14	WebOpacでの貸出依頼	1
15	「地域ボランティア講習会」に参加	1
16	奥村文庫の利用	1
	合計	24

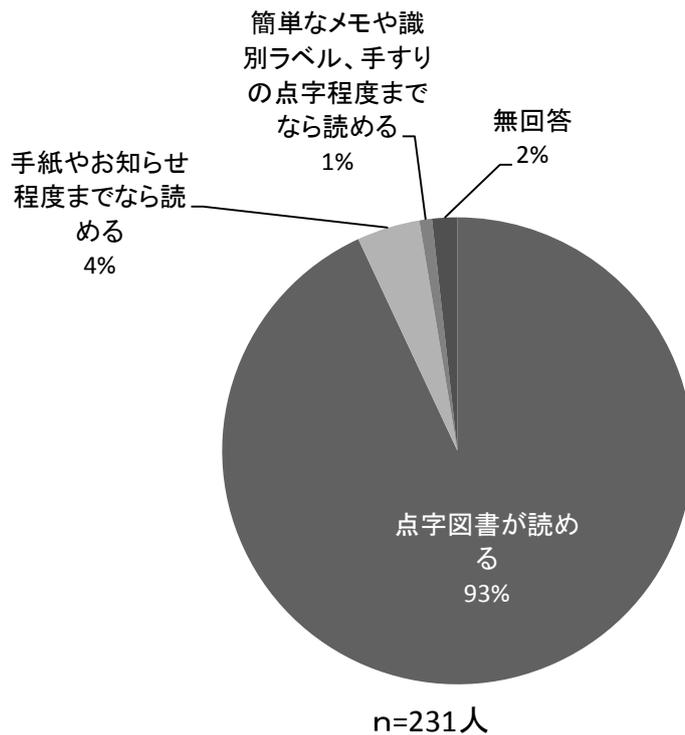
点字図書、録音図書の貸出を利用している人は全体の 93%(215/231 人)、「わくわく用具ショップ」の利用者は全体の 74%(171/231 人)であり、この2つのサービスの利用率が高い。貸出を利用し、かつ用具を利用している割合をクロス集計で求めてみると全体の 70%(162/231 人)であった。

2-8 点字を書くことはできますか？(選択回答)



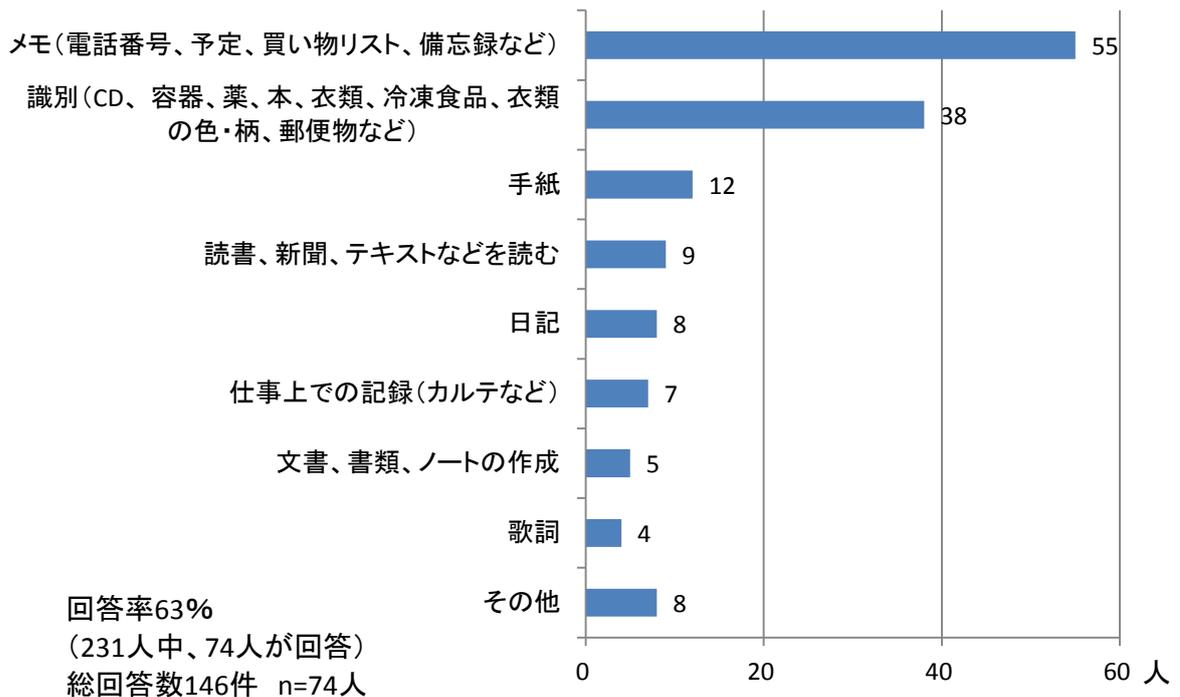
設問回答者のほぼ 100%が点字を書くことができる。(1 名のみ「いいえ」と回答)

点字をどの程度読むことができるか？（選択回答）



アンケート回答者の93%は点字図書が読める。また、手紙やお知らせを含めると97%が点字を読むことができる。今回の回答者のほとんどは、点字の読み書きのできる人たちである。

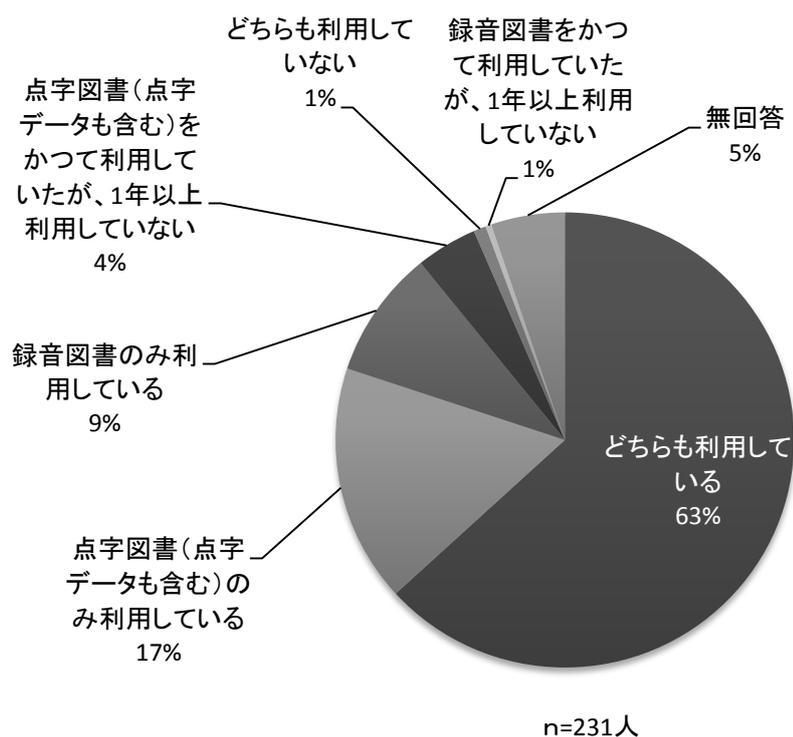
2-9 普段の生活で、どのような場合に点字を使用していますか？（自由回答）



普段の生活で点字を使用する場面としては、電話番号、予定、買い物リスト、備忘録などの「メモ」や、CD、容器、靴、衣類、郵便物、冷凍食品などの「識別」のために点字を使う場面が多い事がわかる。その他にも生活の利便性を向上するために点字が様々な場面で使用されており、生活のQOLの向上における点字の重要性がわかる。

3. 調査結果

3-1 点字図書(点字データも含む)、録音図書の利用状況について(選択回答)



全体の 63%が点字図書と録音図書の両方を利用しており、点字図書(点字データを含む)のみの使用は 17%、録音図書の利用は 9%であった。

3-2 設問 3-1 で「④ 点字図書をかつて利用していたが、1年以上利用していない」と回答した方にお尋ねします。点字図書をしばらく利用していない理由を、次の中からいくつかでも選んでください。(複数回答)

n=5 人

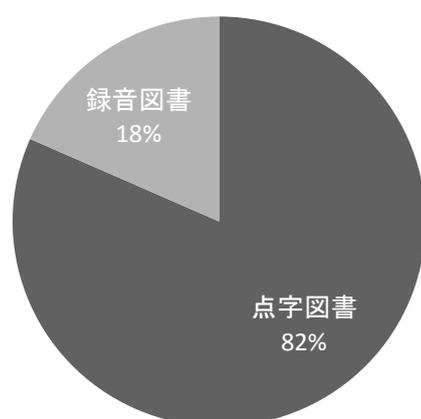
NO.	点字図書を1年以上利用していない理由	件数
1	借りた点字本を返すのに郵便局まで持っていくのが大変なので	3
2	点字を読むのが大変になった	2
3	録音図書を利用しているので、点字を読まなくても読書ができる	2
4	地元の図書館から点字図書を借りているから	2
5	読みたい本を選ぶのが難しい	1
6	その他	1
	合計	11

点字図書を利用しなくなった理由として、「点字図書を郵便局まで持っていったり、受け取る際にも、自宅にいななければならない」という郵送上の問題、「点字を読むのが大変になった」、「録音図書を借りているので」といった理由が挙げられている。

3-3 設問 3-1 で「① (点字図書、録音図書の)どちらも利用している」と回答した方にお尋ねします。次の(1)～(7)の場面で、点字図書、録音図書が両方ある場合にどちらを利用するかを選び、具体例とその理由を書いてください。

(1) 何度も読み返したいもの

(ア) 点字図書、録音図書のどちらを利用するか? (選択回答)



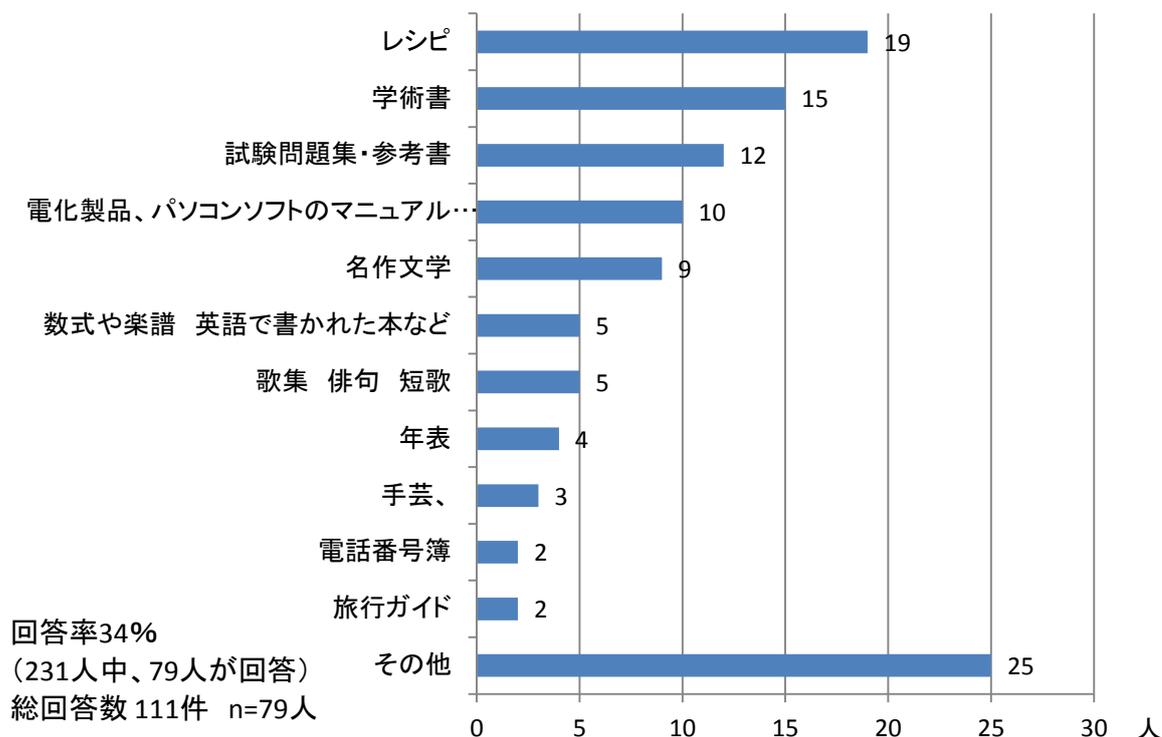
回答率54%
(231人中125人が回答)
n=125人

回答者の年齢比率

年齢	設問回答者	アンケート回答者
10代	4%	5%
20代	4%	6%
30代	8%	10%
40代	26%	21%
50代	14%	14%
60代	22%	23%
70代	17%	18%
80代	4%	4%

(イ) 点字図書の具体例とその理由 (自由回答)

① 点字図書の具体例



② 具体例の理由 *具体例の上位4点を記載

レシピ

n=19 人

NO.	使いやすい理由	件数
1	点字の方が探しやすい	11
2	内容を正確に理解したいから(点字で確認した方が頭に入る)	3
3	録音だと聞き流してしまう恐れがある	2
4	作っている最中でも簡単に読める	2
5	何度も読み返せる	1
	合計	19

学術書

n=15 人

NO.	使いやすい理由	件数
1	言葉を正確に読み取ることができる	5
2	点字の方が録音より頭に入りやすい	2
3	検索しやすい	2
4	じっくり読まないと理解できないから	2
5	何度も読み記憶したいから	2
6	その他	2
	合計	15

試験問題集・参考書

n=12 人

NO.	使いやすい理由	件数
1	点字の方が録音より頭に入りやすい	5
2	言葉を正確に読み取ることができる	4
3	何度も読み返すことで理解できる	1
4	録音だと聞き流してしまう恐れがある	1
5	ポイントを記憶したり、自分なりの記憶をとるため	1
	合計	12

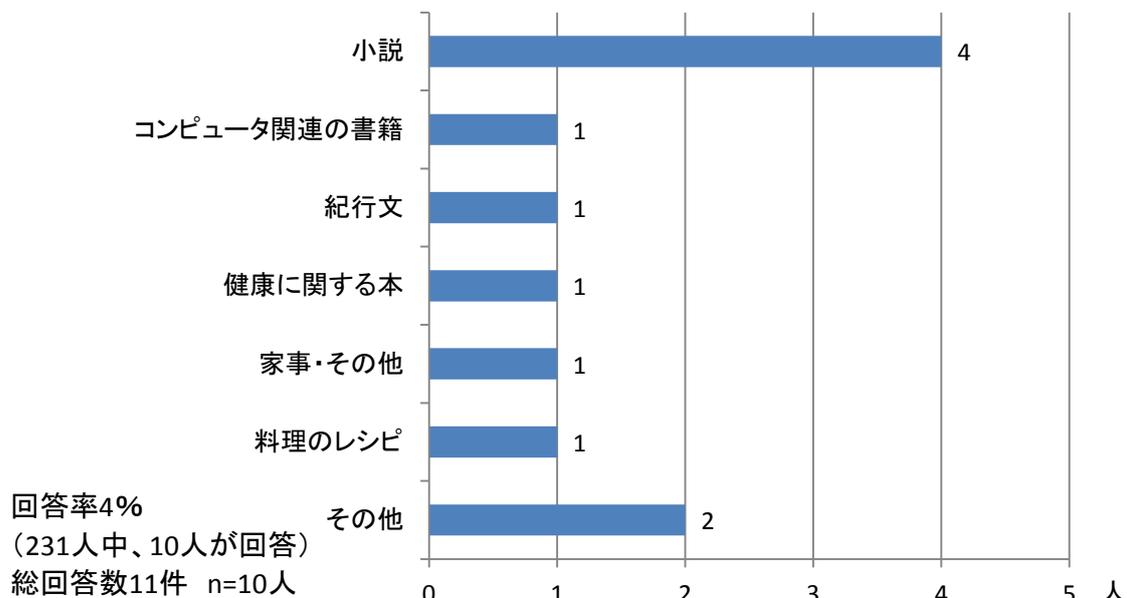
電化製品、パソコンソフトのマニュアルなど

n=10 人

NO.	使いやすい理由	件数
1	点字の方が探しやすい	4
2	点字を読みながら操作手順を確認できる	2
3	耳からの場合よりも思考力を働かせやすい	1
4	正確性が求められるので	1
5	点字だとゆっくり読めるから	1
6	必要に応じて使い方を確認したいので	1
	合計	10

(ウ) 録音図書の具体例とその理由(自由回答)

① 録音図書の具体例



② 具体例の理由 ※具体例の上位1点を記載

n=4人

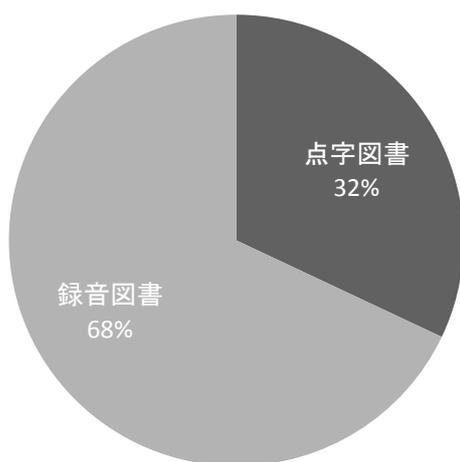
小説		
No	理由	件数
1	音声でも十分理解できる	1
2	かさばらないから	1
3	パソコンにダウンロードしたり、CDにバックアップして後で聴くため	1
4	聴きたい部分の頭出しが素早くできるから	1
	合計	4

40～70代が設問回答者の79%を占める。設問回答者の年齢比率はアンケート回答者全体と比べ、40代が5%多く、30代が2%少ない。

何度も読み返したいものの場合、回答者の約8割が点字図書を選択している。点字は、探しやすく、正確に把握でき、何度も読み返しができる。具体的には、レシピ、学術書、試験問題集・参考書、電化製品のマニュアルのような身近で正確に把握したいものが上位に挙げられている。一方、録音図書はかさばらず、どこでも聞ける点、検索が容易な点を魅力に感じている。

(2) ニュース性を求めるもの

(ア) 点字図書、録音図書のどちらを利用するか？ (選択回答)



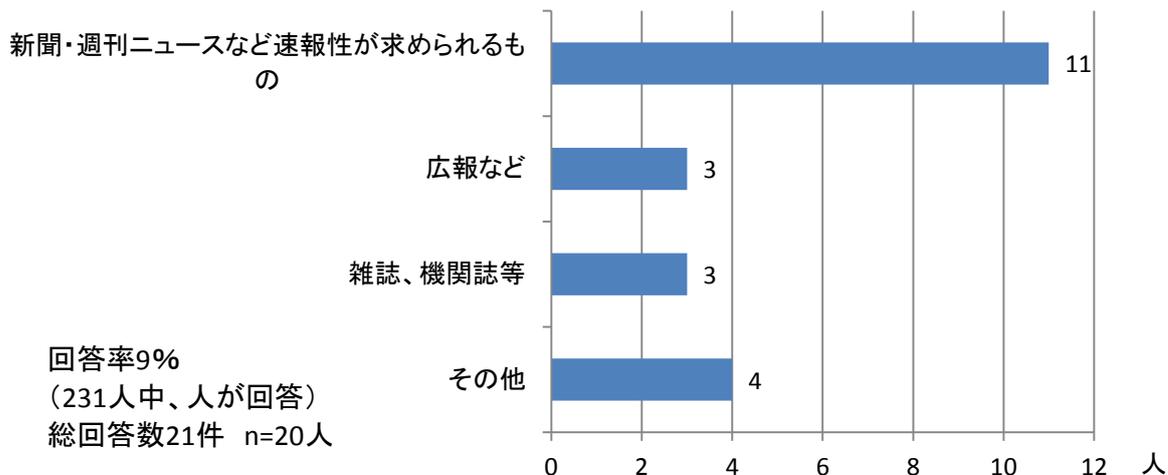
回答率45%
(231人中、103人が回答)
n=103人(選択回答)

回答者の年齢比率

年齢	設問回答者	アンケート回答者
10代	4%	5%
20代	4%	6%
30代	9%	10%
40代	25%	21%
50代	16%	14%
60代	23%	23%
70代	15%	18%
80代	5%	4%

(イ) 点字図書の具体例とその理由(自由回答)

① 点字図書の具体例



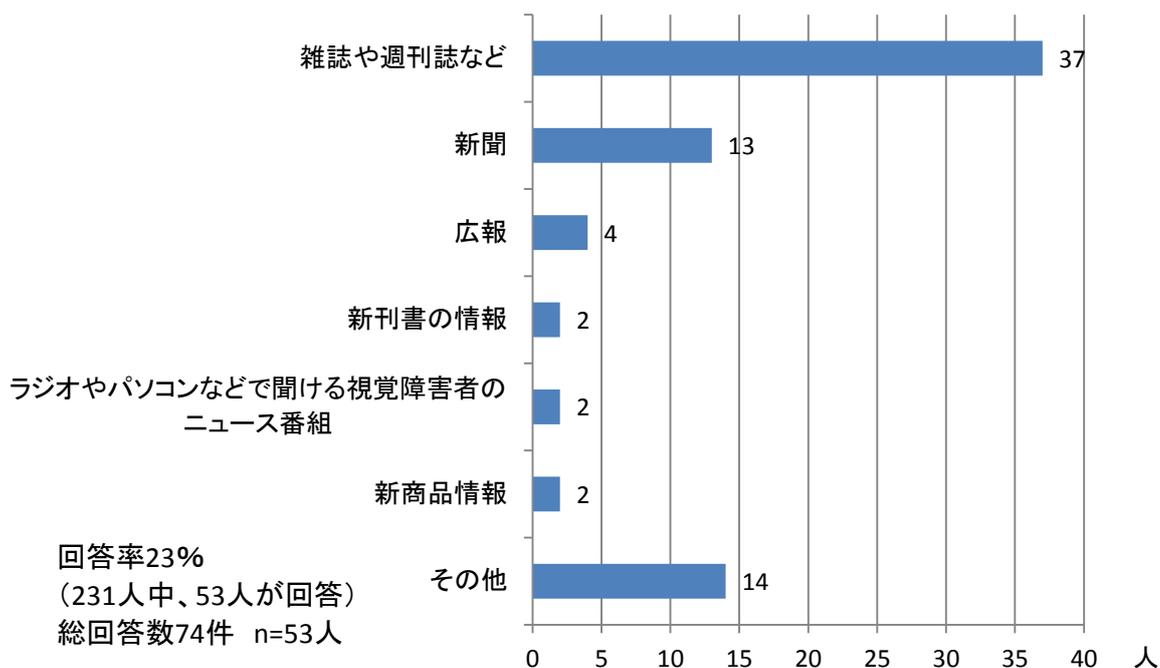
② 具体例の理由 ※具定例の上位1点を記載

新聞・週刊ニュースなど速報性が求められるもの n=11人

No.	具体例	件数
1	単語の聞き間違いが無い	9
2	録音図書より完成が早いから	1
3	読み飛ばしができる	1
	合計	11

(ウ) 録音図書の具体例とその理由 (自由回答)

① 録音図書の具体例



② 具体例の理由（複数回答） ※具体例の上位2点を記載

雑誌や週刊誌など

n=37人

NO	理由	件数
1	完成が点字より早いから	14
2	速度を速めて短時間で情報が得られる	8
3	聞き流しで十分なので	6
4	聞きたい項目だけすばやく探せる	3
5	パソコンやデジターなどで早く簡単に聴けるから	3
6	その他	3
	合計	37

新聞

n=13人

NO	理由	件数
1	速報性を重視	4
2	聞き流しで十分なので	3
3	その他	6
	合計	13

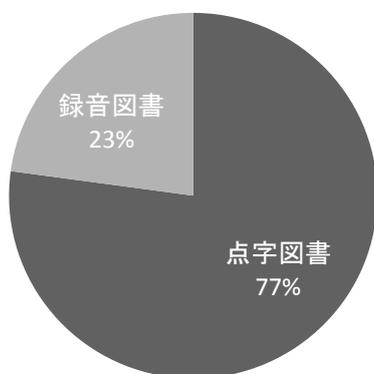
40～70代が設問回答者の79%を占める。設問回答者の年齢比率はアンケート回答者全体と比べ、40代が4%、50代が2%多く、70代が3%少ない。

ニュース性のあるものは、即時性が重視される。回答者の約7割が製作期間が短い録音図書を選択している。また、内容的に聞き流しで十分なこと、早聞きできるので、短時間で聞けることも、利用される理由である。

一方、点字を希望する人は、読み間違いがない点を主な理由にあげている。

(3) 情報の正確性を求めるもの

(ア) 点字図書、録音図書のどちらを利用するか？（選択回答）



回答率45%

(231人中、105人が回答)

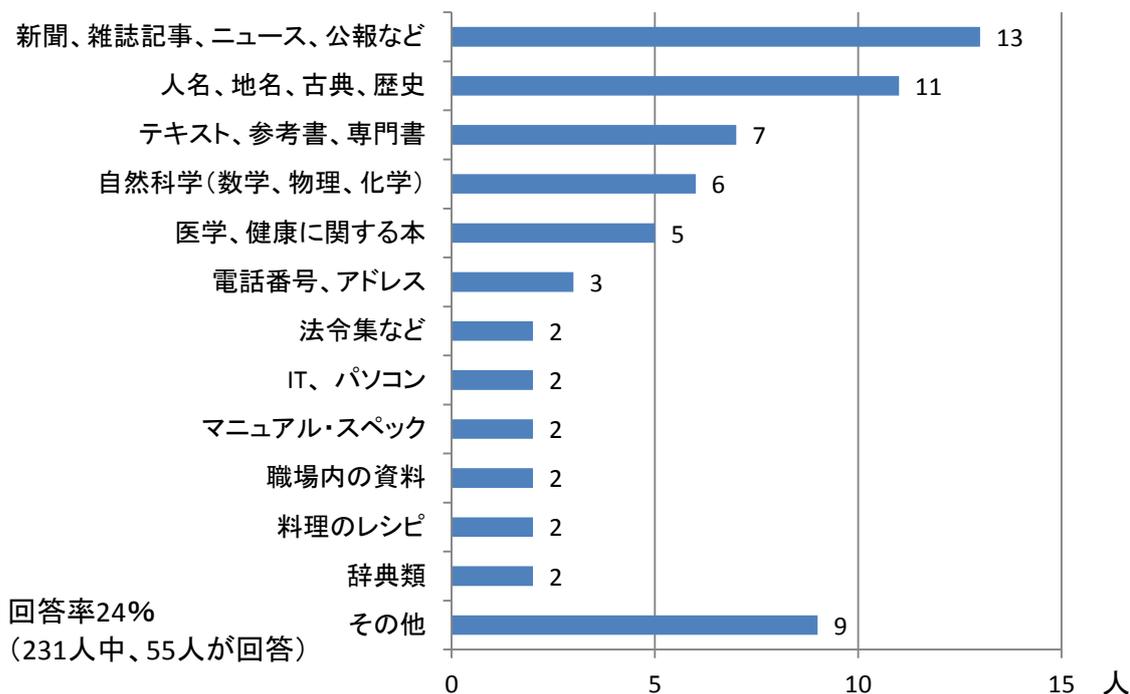
n=105人

回答者の年齢比率

年齢	設問回答者	アンケート回答者
10代	5%	5%
20代	4%	6%
30代	9%	10%
40代	25%	21%
50代	14%	14%
60代	24%	23%
70代	16%	18%
80代	4%	4%

(イ) 点字図書の具体例とその理由(自由回答)

① 点字図書の具体例



② 具体例の理由 ※具体例の上位3点を記載

新聞・雑誌記事・ニュース・公報など n=13人

No	理由	件数
1	人名、固有名詞などが正確に把握できる	9
2	録音図書より早いから	1
3	点字の方が、理解しやすい。頭に入る	1
4	その他	2
	合計	13

人名・地名・古典・歴史 n=11人

No	理由	件数
1	一文字一文字を正確に読みたいから	6
2	録音図書では正確に聞き取れない場合があるから	3
3	点字の方が、理解しやすい。頭に入る	1
4	読みやスペルがかわる	1
	合計	11

テキスト、参考書、専門書

n=7 人

No	理由	件数
1	点字の方が、理解しやすい。頭に入る	3
2	一文字一文字を正確に読みたいから	2
3	録音図書では正確に聞き取れない場合があるから	1
4	読みやスペルがかわる	1
	合計	7

(ウ) 録音図書の具体例と理由 (自由回答)

① 録音図書の具体例

* 具体例と理由が1件ずつのため、表形式で表示

回答率 3%(231人中、7人が回答) n=7人

NO	具体例	人	使いやすい理由	件数
1	役所や図書館の広報	1	「正確性」については、点字と録音ともに大差はないと思います。内容が同じならばデージー録音が使える方が良いです	1
2	健康に関する本	1	仮にどうしても認識したい個所があれば、その場でデージーやテープの再生を戻して聞けるし、それを点字等で記録することも可能である。	1
3	法令・制度	1	点字を読む速度が遅く、正確さにも自信がないから	1
4	マニュアル	1	理解しやすい	1
5	録音雑誌	1	点字では発行されていない雑誌のため	1
6	タウン情報	1	両方で読んだことがあるから	1
7	パソコン雑誌など	1	聴きながらすぐ活用できるから	1
	合計	7	合計	7

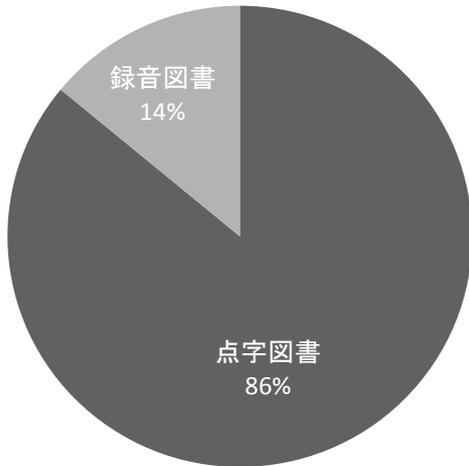
40～70代が79%を占める。設問回答者の年齢比率はアンケート回答者全体よりも、40代が4%多く、20代、70代が2%少ない。

情報を正確に把握したい場合は、回答者の約8割が点字図書を選択している。新聞、雑誌記事、公報、人名、地名、テキスト、参考書、自然科学系の資料、医学、健康などの具体例が挙げられており、「正確に把握できる」「一文字一文字確認できる」「頭に入りやすい」などが主な理由である。

一方録音図書を選択した人は具体例は様々であったが、「点字も録音も大差はない」「どうしても認識したいところは戻して再生して聞ける」「理解しやすい」など、「録音物で十分理解できる」という理由が多い。

(4) 学習のためのもの

(ア) 点字図書、録音図書のどちらを利用するか？ (選択回答)



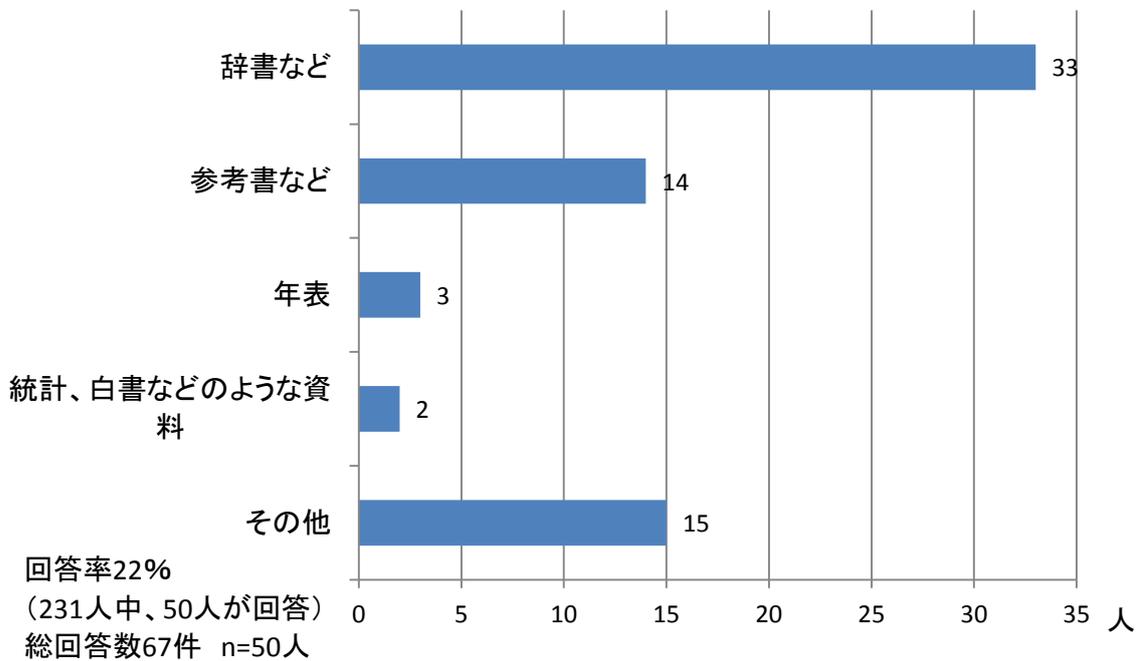
回答率46%
(231人中、107人が回答)
n=107人

回答者の年齢比率

年齢	設問回答者	アンケート回答者
10代	5%	5%
20代	4%	6%
30代	10%	10%
40代	24%	21%
50代	15%	14%
60代	23%	23%
70代	15%	18%
80代	4%	4%

(イ) 点字図書の具体例とその理由 (自由回答)

① 点字図書の具体例



① 具体例の理由 ※具体例の上位2点を記載

辞書など

n=33 人

No	理由	件数
1	点字の方が、理解しやすい。頭に入る	15
2	録音図書では正確に聞き取れない場合があるから	6
3	一文字一文字を正確に読みたいから	4
4	必要な箇所を探しやすい	3
5	正確性を求められるので	2
6	その他	3
	合計	33

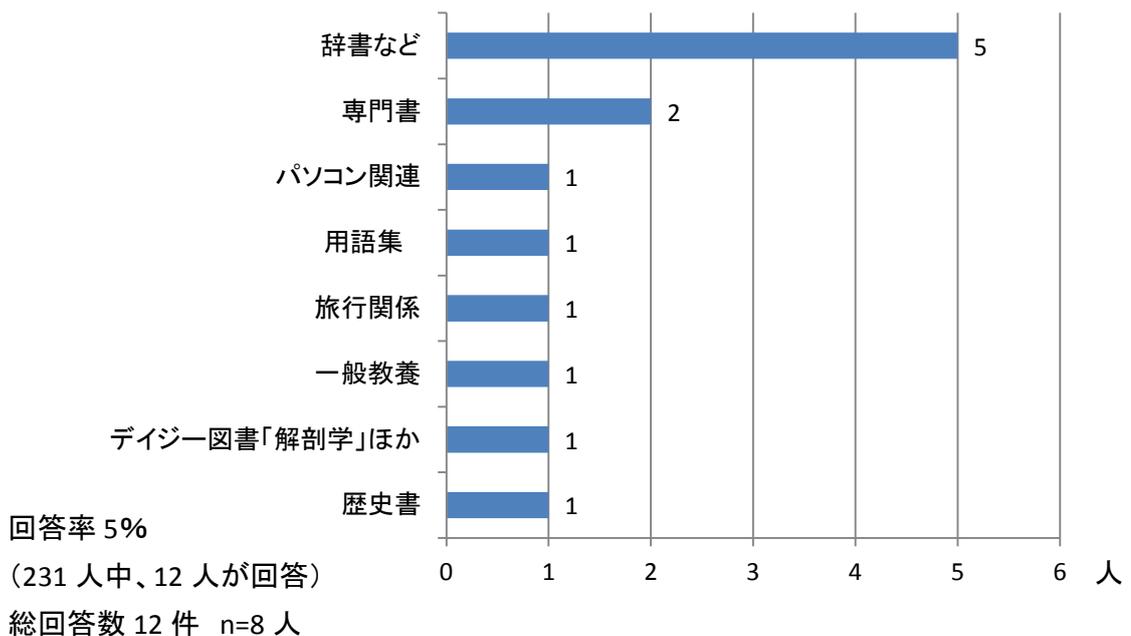
参考書など

n=14 人

No	理由	件数
1	点字の方が、理解しやすい。頭に入る	5
2	必要な箇所を探しやすい	2
3	その他	7
	合計	14

(ウ) 録音図書の具体例とその理由 (自由回答)

① 録音図書の具体例



② 具体例の理由 ※具体例の上位2点を記載

辞書など

n=5 人

NO.	使いやすい理由	件数
1	学習のためのものはより正確に情報を得る必要があるので	2
2	デイジーは検索しやすいので	2
3	読み方が具体的にわかるから	1
4	学習の量が多くなると、人の声で聴いた方が頭に入りやすいように思います	1
	合計	6

専門書

n=2 人

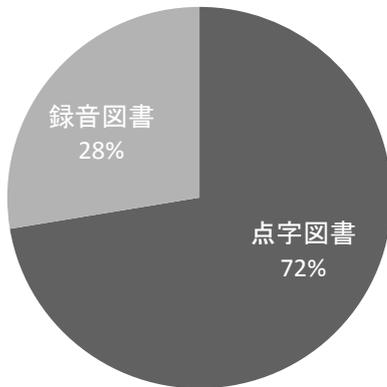
NO.	使いやすい理由	件数
1	学習の量が多くなると、人の声で聴いた方が頭に入りやすいように思います	1
2	講義や研修などを受けながら使える。	1
	合計	2

40～70代が設問回答者の77%を占める。設問回答者の年齢比率はアンケート回答者全体と比べると、40代が3%多く、20代が2%、70代が3%少ない。

学習のためのものでは、回答者の約9割が点字図書を選択している。具体的には、辞書が最も多くの人々が挙げており、次に参考書などであった。「点字の方が頭に入りやすい」「一文字一文字正確に把握できる」というのが主な理由で、正確に確実に記憶しておきたい学習の場面では、特に点字が必要であることがわかる。

(5) 調べ物のためのもの

(ア) 点字図書、録音図書のどちらを利用するか？ (選択回答)



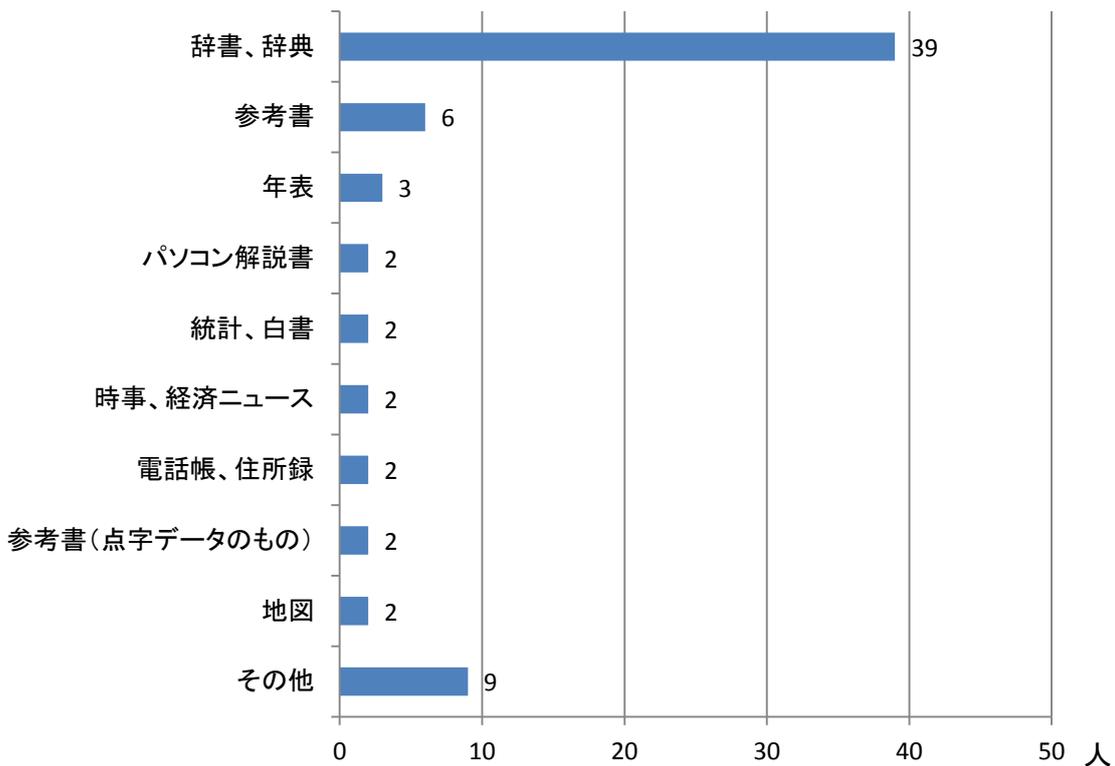
回答率45%
(231人中、105人が回答)
n=105人

回答者の年齢比率

年齢	設問回答者	アンケート全体
10代	4%	5%
20代	4%	6%
30代	10%	10%
40代	27%	21%
50代	15%	14%
60代	23%	23%
70代	14%	18%
80代	4%	4%

(イ) 点字図書の具体例とその理由(自由回答)

① 点字図書の具体例



回答率19% (231人中、45人が回答)
総回答数69件 n=45人

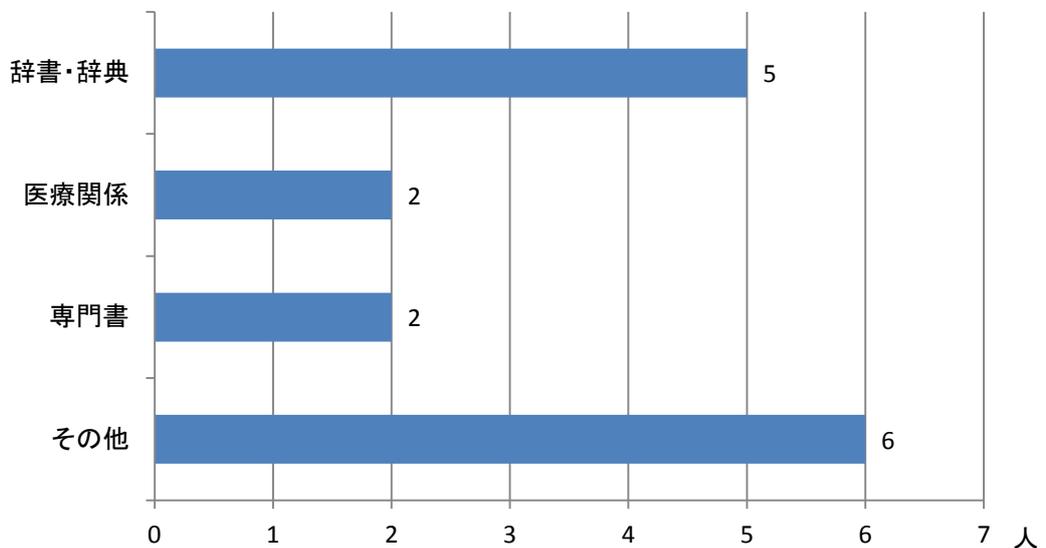
② 具体例の理由 ※具体例の上位2点を記載

辞書・辞典		n=39 人
No	理由	件数
1	目的の個所を探しやすい	17
2	正確に把握できる/頭に入りやすい	12
3	自分のペースで読める	3
4	点字ディスプレイやパソコンで検索が容易	3
5	何度も読み返しがきく	2
6	その他	2
合計		39

参考書		n=6 人
No	理由	件数
1	正確に把握できる/頭に入りやすい	3
2	何度も読み返しがきく	1
3	点字ディスプレイやパソコンで検索が容易	1
4	何度も読み返しがきく	1
合計		6

(ウ) 録音図書の具体例とその理由(自由回答)

① 録音図書の具体例



回答率6% (231人中、14人が回答)

総回答数15件 n=14人

② 具体例の理由 ※具体例の上位3点を記載

n=5 人

辞書・辞典		
No	理由	件数
1	検索しやすい	2
2	人の声で聴いた方が頭に入りやすい	1
3	省スペース	1
4	その他	1
合計		5

n=2 人

医療関係		
No	理由	件数
1	省スペース	1
2	検索しやすい	1
合計		2

n=2 人

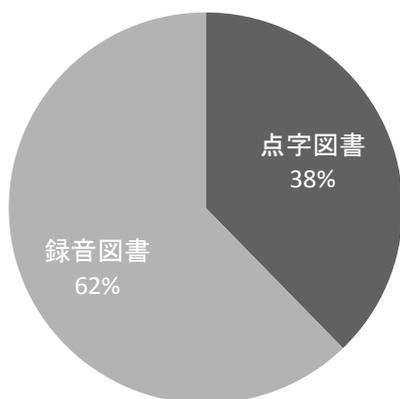
専門書		
No	理由	件数
1	スピーディに聴けてたくさん読めるから	1
2	人の声で聴いた方が頭に入りやすい	1
合計		2

40～70代が設問回答者の79%を占める。設問回答者の年齢比率はアンケート回答者全体と比べ、40代が6%多く、20代が2%、70代が4%少ない。

「調べもの」では、回答者の約7割が点字を選択している。点字を選択した人では、辞書・辞典類を回答者数の約9割(39人/45人)の人が挙げており、「検索しやすさ」、「正確に把握できる点」を理由に挙げている。また、録音図書を選択した人も、「辞書・辞典」を挙げており、「検索のしやすさ」、「省スペース」と言ったデジジーの特徴を理由として挙げている。尚、録音図書を選択した理由で「その他」がもっとも多くなっているが、いずれも「デジジー図書の方を使用している」という内容であった。

(6) 趣味・娯楽のためのもの(小説、エッセイなどの文学)

(ア) 点字図書、録音図書のどちらを利用するか?(選択回答)



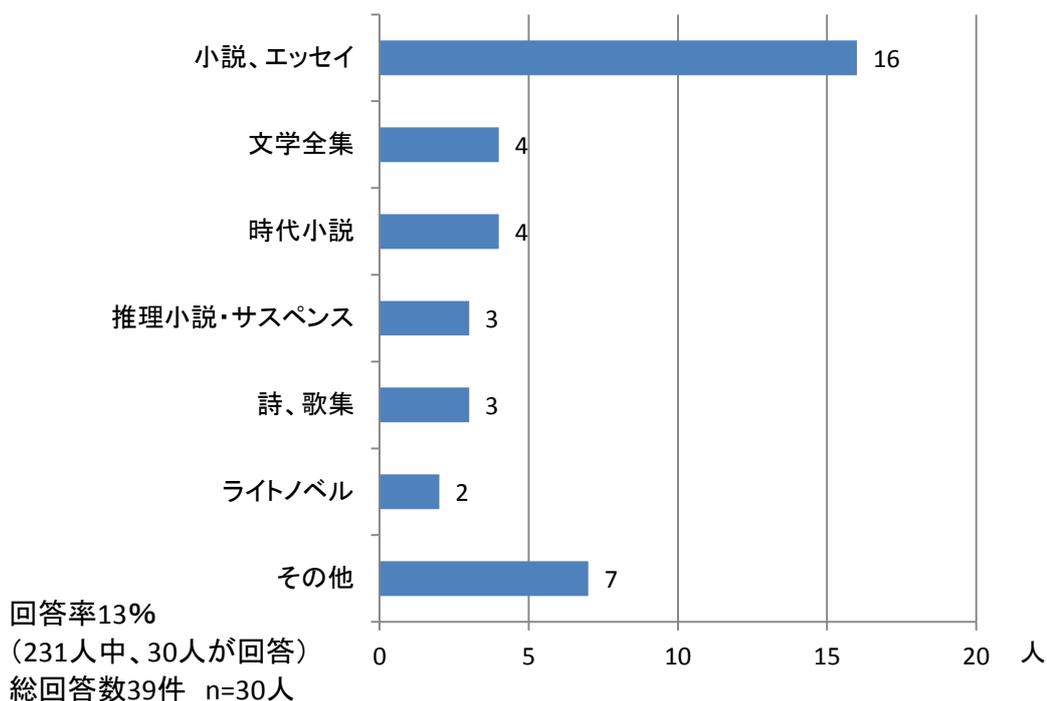
回答率46%
(231人中、106人が回答)
n=106人

回答者の年齢比率

年齢	設問回答者	アンケート回答者
10代	4%	5%
20代	7%	6%
30代	8%	10%
40代	25%	21%
50代	14%	14%
60代	24%	23%
70代	15%	18%
80代	4%	4%

(イ) 点字図書の具体例とその理由 (自由回答)

① 点字図書の具体例



② 具体例の理由 ※具体例の上位2点を記載

小説、エッセイ

n=16人

NO	理由	件数
1	自分のペースで味わって読みたいので	9
2	点字で読書をしたい	3
3	点字の方が想像をかきたてられる	2
4	点字の方が頭に入りやすい	1
5	何度でも読み返せるので	1
6	難聴なので	1
7	リラックスできるから	1
	合計	18

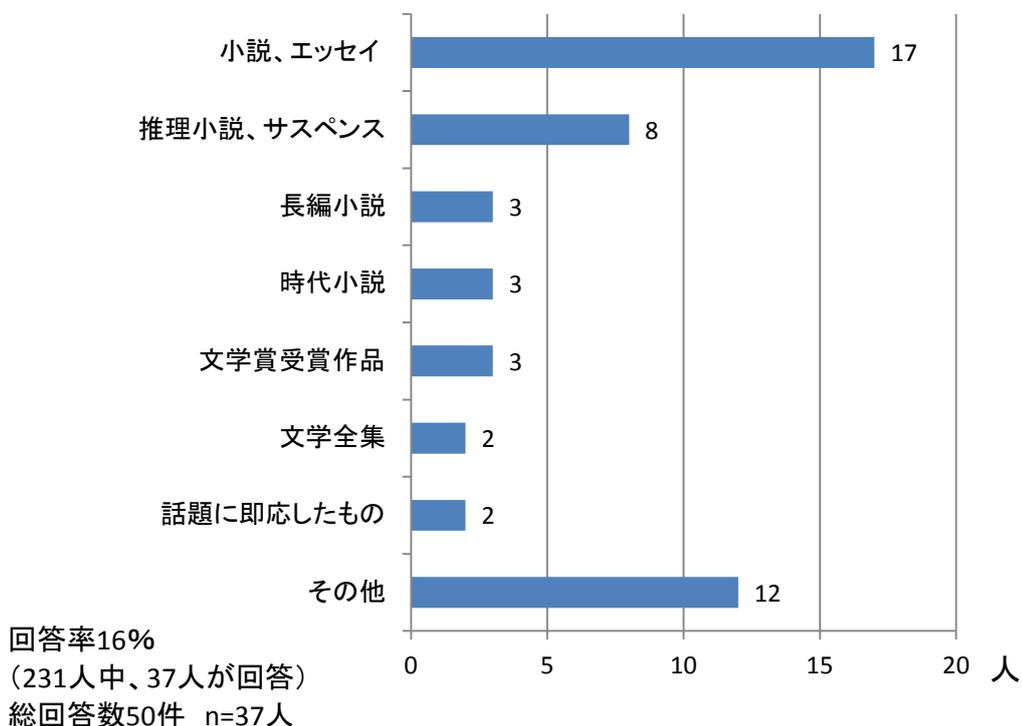
文学全集

n=4人

NO	理由	件数
1	自分のペースで味わって読みたいので	1
2	点字で読書をしたい	1
3	点字の方が頭に入りやすい	1
4	よく読む小説だから	1
	合計	4

(イ) 録音図書の具体例とその理由 (自由回答)

① 録音図書の具体例



② 具体例の理由 ※具体例の上位2点を記載

小説、エッセイ

n=17人

NO	理由	件数
1	いつでもどこでも、気軽に鑑賞できる	5
2	何かをしながら聞くことができる	3
3	早聞きができる	3
4	聞く楽しさ	2
5	文章やストーリーを楽しむには録音がいい	1
6	数多く読める	1
7	心に残るから	1
8	種類が多い	1
	合計	17

推理小説・サスペンス

n=8 人

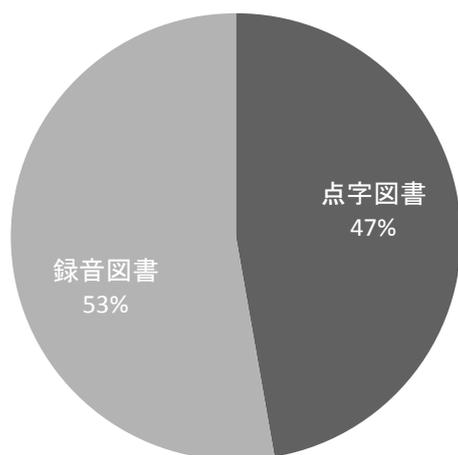
NO	理由	件数
1	いつでもどこでも、気軽に鑑賞できる	4
2	何かをしながら聞けることができる	1
3	完成までが早い	1
4	早聞きができる	1
5	聞く楽しさ	1
	合計	8

40～70代が設問回答者の78%を占める。設問回答者の年齢比率は、アンケート回答者全体と比べると40代が4%、60代が1%多く、70代が3%少ない。

小説、エッセイなどの趣味・娯楽の読書では、回答者の約4割が点字図書を、約6割が録音図書を選択する。点字図書を選択した人の主な理由は、「自分のペースで味わって読むことができる」点を挙げており、録音図書を選択した人は、「いつでもどこでも気軽に鑑賞できる」「何かをしながら聞けることができる」「早聞きができる」などの利便性を挙げている。点字図書利用者にも、読書の楽しみ方、ライフスタイルによって録音図書を利用する選択が広がっている。

(7) 趣味・娯楽のためのもの（文学を除く）

(ア) 点字図書、録音図書のどちらを利用するか？（選択回答）



回答率39%
(231人中、91人が回答)
n=91人

回答者の年齢比率

年齢	設問回答者	アンケート回答者
10代	3%	5%
20代	3%	6%
30代	10%	10%
40代	23%	21%
50代	16%	14%
60代	24%	23%
70代	14%	18%
80代	5%	4%

(イ) 点字図書を利用する具体例と理由 (自由回答)

* 具体例と理由が多岐にわたるので表形式で表示

回答率9% (231人中、21人が回答) n=21人

NO.	具体例	人	使いやすい理由	件数
1	料理のレシピ	5	点字で読むのが好き	2
			点字でしっかり読みたいから	2
			内容が頭に入りやすい。	1
			読みながら制作したり、購入したりする時には正しく名称等を伝えられる	1
			何度も確認したいから	1
2	カラオケの歌詞	4	言葉の聞き間違えが無い	2
			自分が必要なところを見つけるのが楽なため	1
			点字で読みながら歌えるから	1
			音を出さなくてすむので	1
3	音楽書や楽譜など	3	録音図書では不可能だから	1
			歴史的なことや人の名前など正確に把握したいので	1
			記憶や確認に便利	2
4	将棋、囲碁の棋譜	3	頭に入りやすいから	1
			正確に棋譜をたどるには点字しかない	1
5	ガイドブック、旅行関係の本	2	点字で確認したいから	1
			自分が必要なところを見つけるのが楽なため	1
6	ファンクラブなどの会報	2	両方あれば点字で読みたいから	1
			大まかに内容が掴めれば良い程度のものであるから	1
7	雑学の本	2	点字で読むほうが好き	1
			読み飛ばすことが多いから	1
			内容が頭に入りやすい。	1
8	パソコン関係の本	1	点字で読むのが好き	1
			内容が頭に入りやすい。	1
9	手芸等作成法	1	手元に置いて読みながら制作したり、購入したりする時には正しく名称等を伝えられる	1
10	各種評論	1	難解なものほど、点字で確認しながら読み進むほうが、深く理解できるから	1
11	iPhone操作ガイド	1	聴きながら操作出来るので	1
12	民俗学	1	このような内容は点字でじっくり読んでみたいから	1
13	園芸(草花)の点字書	1	栽培にはテキストが必要	1
14	暮らしの情報誌	1	気楽に聞けるから	1
15	年表	1	記憶や確認に便利	1
	合計	29	合計	34

(ウ) 録音図書を利用する具体例と理由(自由回答)

* 具体例と理由が多岐にわたるので表形式で表示

回答率 10% (231 人中、22 人が回答) n=22 人

NO.	具体例	人	使いやすい理由	件数
1	雑誌、芸能情報、雑学系	8	聴き流せるから	3
			種類が多く、完成が早いから	1
			気軽に大量の情報が得られるから	1
			手軽に新鮮な情報が得られるから	1
			いつでもどこでも聞ける	1
			長くてデジジー録音ならCD1枚に収まるので読書しやすい	1
			目次を聞いて聞きたいところについて聞けるから	1
			大事なところをICレコーダーに録音できるから	1
			点字では作られていないものがある	1
2	新書に分類される図書	1	長くてデジジー録音ならCD1枚に収まるので読書しやすい	1
			目次を聞いて聞きたいところについて聞けるから	1
			大事なところをICレコーダーに録音できるから	1
3	健康に関するもの	1	いつでもどこでも聞ける	1
4	スポーツ記事	1	タイムリーに知りたい	1
5	趣味や教養書など	1	録音図書で十分間に合うものが多いと思われる	1
6	家事に関するもの	1	いつでもどこでも聞ける	1
7	園芸に関するもの	1	いつでもどこでも聞ける	1
8	スピリチュアル関係	1	短い時間でいろいろと知りたいから	1
9	落語	1	話芸だから	1
10	一番うまいやり方大百科	1	具体例で書いたてあるようなものはより多くの情報を聞けるデジジー図書の方が良い	1
11	生涯学習のもの	1	健常者と読みながら、進めていく事ができる	1
12	自然科学	1	点字は録音に比べて少ない上に、ほとんどが抜粋だから	1
13	シネマデジジー	1	数十年前の光景が目に見えから	1
14	一般書籍	1	何度も読み返しができるから	1
15	鳥などの鳴き声など	1	鳥のさえずりなどを聞いてリラックスするため	1
16	料理	1	繰り返し読んで覚える	1
17	文壇史	1	いろいろな作家の生涯や交流を調べるには、やはり録音が便利です	1
	合計	24	合計	29

40～70代が設問回答者の77%を占める。設問回答者の年齢比率はアンケート回答者全体と比べると40代、50代が2%多く、10代が2%、20代が3%、70代が4%少ない。

文学以外の趣味・娯楽のためのものでは、点字図書と録音図書の選択はほぼ半々に分かれる。ただし、点字と録音では具体例が異なる。回答数の多かったものでは、点字は「料理のレシピ」「音楽書や楽譜など」「カラオケの歌詞」「音楽書や楽譜」「将棋、囲碁の棋譜」など。録音図書では、「雑誌、芸能情報、雑学系」であった。上記以外のものは、ある特定のものに集中せずに、回答者のそれぞれのニーズが挙げられている。視覚障害者の趣味の広がりによって、さまざまな読

書ニーズがあることがわかる。使いやすい理由を見てみると、点字図書、録音図書の選択理由としては、点字は「内容をしっかり確認したい」、録音は「たくさん情報を聞きながせる」という点がポイントになっている。

(8)その他

* 具体例と理由が多岐にわたるので、グラフではなく表形式で表示

①～⑦以外に、録音図書より点字図書を利用する時があれば、その具体例と理由を書いてください。(自由回答)

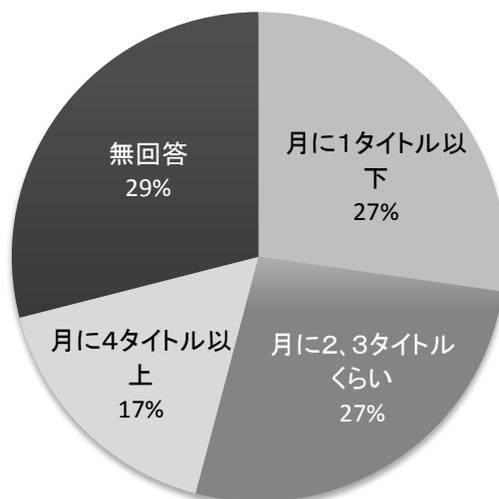
* 具体例と理由が多岐にわたるので、グラフではなく表形式で表示

回答率 10% (231人中、21人が回答) n=21人

具体例	人	理由	件数
地図(文中の地図も含む)	6	点字に限る	1
		位置的に確認ができ、説明を読むことで、予め行きたい場所を探せる	1
		点図がある方が理解しやすい	1
		ソ連の崩壊後や新興国が増えているアフリカ、内戦が多い中近東がどこにあるのか興味があるから	1
		点字でないと確認できない	1
		晴眼の子供たちとのコミュニケーションをとるため	1
点字付き絵本	3	絵に触れられて楽しい	1
		一緒に読みたいので	1
		子どもに読み聞かせるため(絵本)	1
医学書、治療の専門書	2	しっかり確認できるので	1
		興味のある部分を読み返すことが多いから	1
点字楽譜	2	自分のペースで確認できるから	1
		点字でないと確認できない	1
ネットで調べものをして正確性を求めるとき、	1	自動点訳にかけて、ディスプレイで読む。	1
録音図書で聴いてから、これはしっかり読んだほうが良いと思ったら、点字本を借りるようにしている	1	しっかり確認できる	1
旅行などで長時間の移動をする際に点字図書を持って行くようにしています。	1	年に何度かの練習を兼ねてです。しかし、サイズの大きい荷物になってしまうので、最近はPTPを持って行く機会が増えました。	1
身近に置き、読み返したい古典や歌集—徒然草、瀬音	1	自分のペースで好きなところを読めるから	1
点字 大学の講義のレジメ	1	授業の多くはレジメに沿って進められる。したがってレジメは講義のポイントをまとめたり、教員の説明をわかりやすくするために使用されていると思われる。授業中は同時に2種類の聴くことは負担である。点字でレジメの内容を追いつながり聴いた方が理解しやすい	1
食べ歩きの本	1	実際にそこに行った音源がないのなら、点字でほしい	1
図書館ニュース、市の広報など、	1	正確な図書の名前やイベント名が分かるから。	1
美術書	1	晴眼の子供たちとのコミュニケーションをとるため	1
立体図形	1	晴眼の子供たちとのコミュニケーションをとるため	1
児童書	1	子どもに読んで聞かせたいので	1
日記その他記録類	1	点字にしておくほうが便利。	1
合計	24	合計	24

特に点字図書を利用する場面では、触地図、点字付き絵本、点字楽譜など、点字でなければ表現できない資料、点字の方が理解しやすい資料があげられている。点字ならではの利便性がわかる。

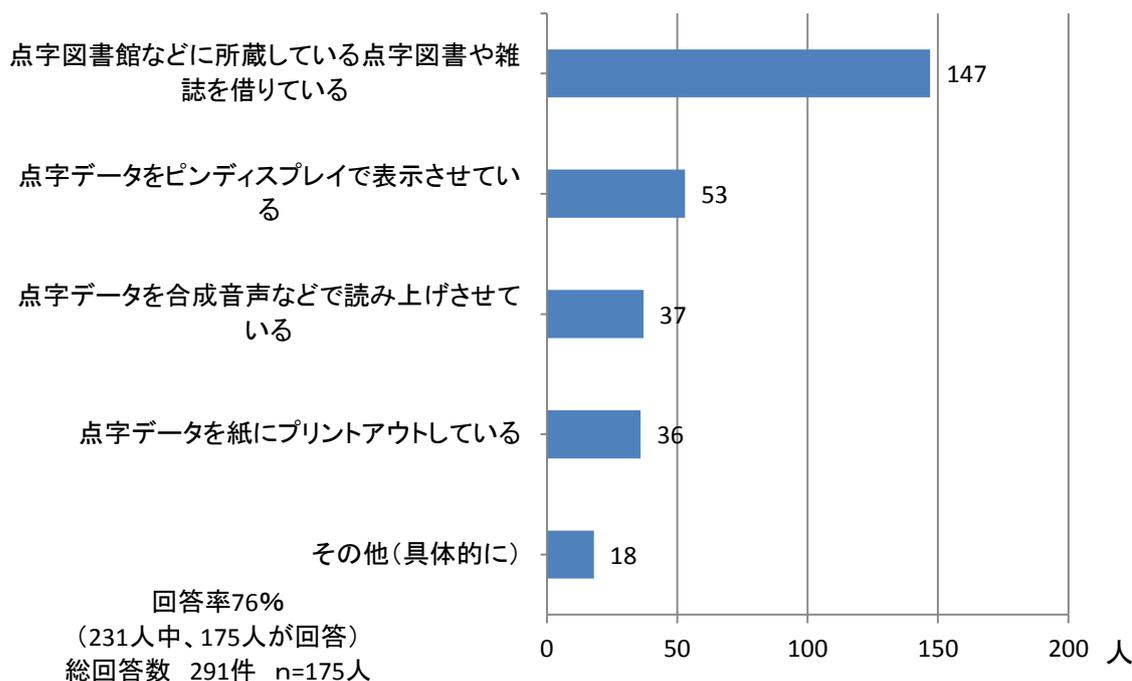
3-4 点字図書、点字雑誌の読書ペース(選択回答)



n=231人

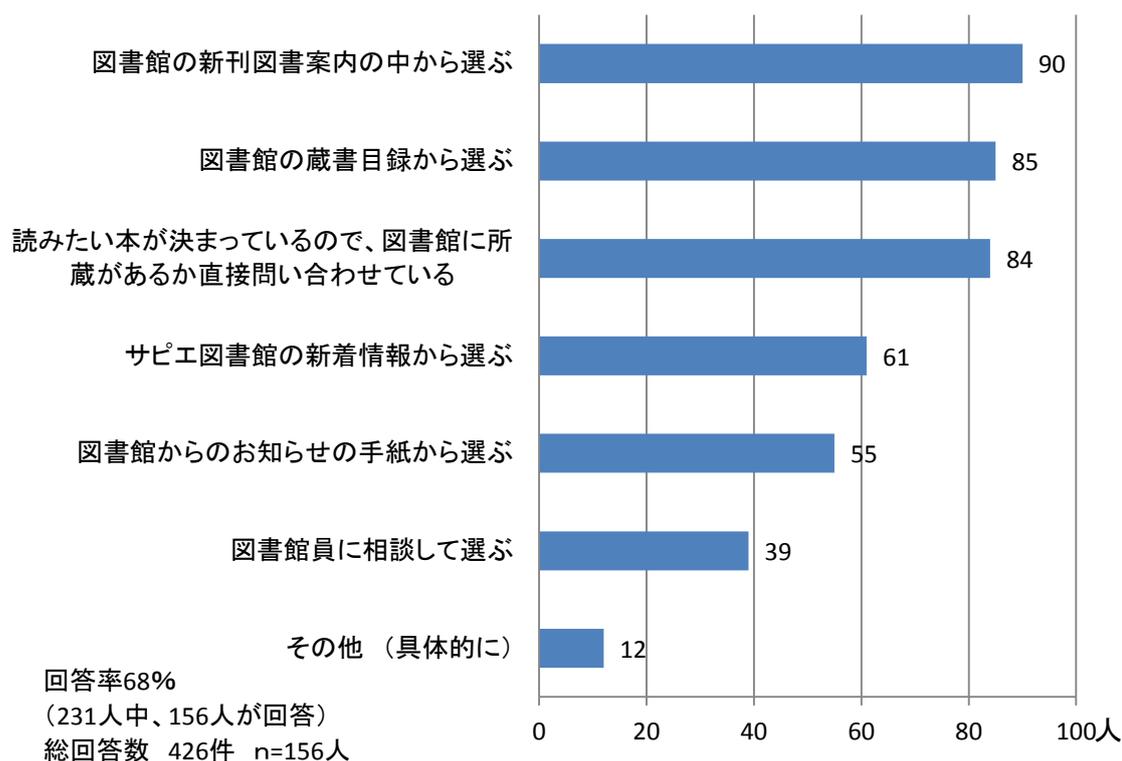
だいたい一般的な読書ペースである月に3タイトル以下が全体の54%(約5割)を占めている。

3-5 普段、点字で読書をしている方にお尋ねします。どのような方法で読書をしていますか？ 該当するものを次の中からいくつでも選んでください。(複数回答)



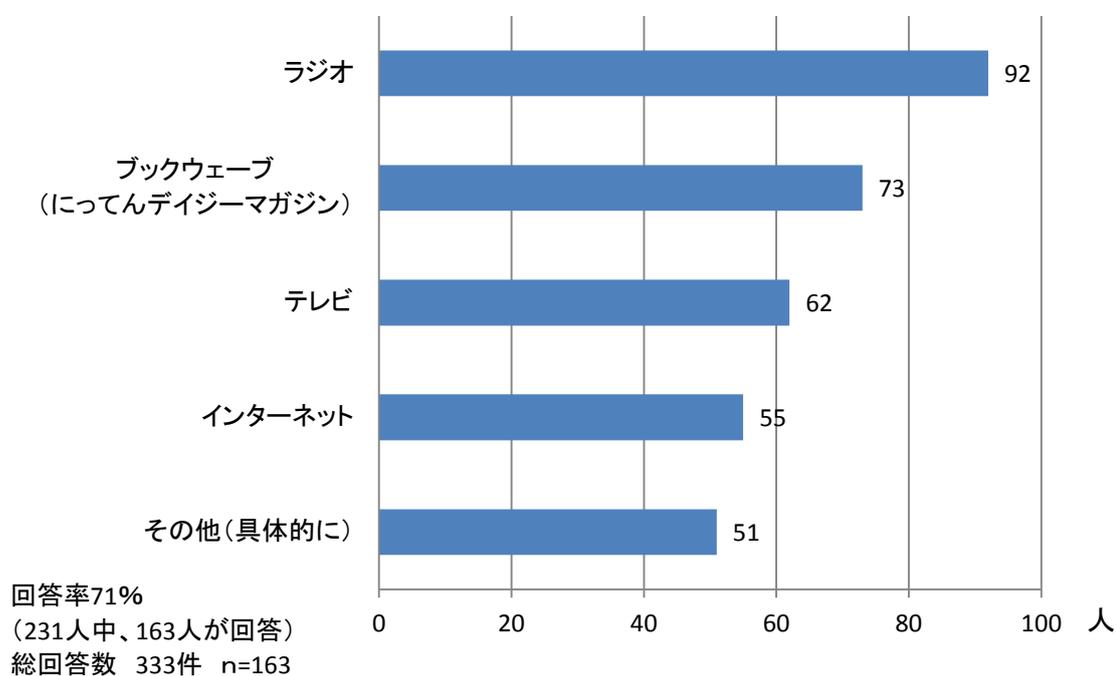
点字図書、雑誌などの紙媒体で借りる人は 147 人で回答者の 84% (147 人/175 人) と最も多く、点字のデータをピンディスプレイで利用している人は 53 人で 30%、合成音声で点字データを聞いている人は 37 人で 21%、点字データをプリントアウトしている人は 36 人で 21%であった。

3-6 設問16で「① 点字図書館などに所蔵している点字図書や雑誌を借りている」と回答した方にお尋ねします。借りる点字図書をどのように選んでいますか。該当するものを次の中からいくつでも選んでください。(複数回答)



図書館からの新刊図書案内、目録、お知らせの手紙(日点から点字図書利用者へ毎月送付しているお薦め図書の手紙)などの点字で書かれた情報が中心となっている。その他の回答には、サピエやインターネットで検索している(3人)、友人からのお薦め情報(2人)、図書館のホームページで目録を見る(1人)などの回答があった。点字図書の利用者は点字からの情報入手が主と考えられるが、サピエ図書館の到着情報から選ぶ人も回答者の約40%(61人)を占め、サピエやインターネットを使用して情報取得する人も増えている。

3-7 墨字新刊図書の情報は、どこで入手していますか？ 該当するものを次の中から
いくつでも選んでください。(複数回答)



ラジオが92人ともっとも多く、続いてブックウェーブが73人、テレビが62人となっている。その他では、「他館の新刊図書案内」「雑誌、新聞の書評欄、新刊案内」「書店の店頭表示」「口コミ」などが挙げられていた。

3-8 どのような分野の点字図書を充実してほしいですか？

回答率 70% (231 人中、161 人が回答) n=161 人

NO.	項目	件数	NO.	項目	件数
1	文学・小説	21	51	児童書	2
2	料理レシピ	18	52	社会問題	2
3	旅行、観光	18	53	受賞作	2
4	テレビドラマの特集	16	54	数学	2
5	イベントなどのガイドブック	11	55	スマホ	2
6	歴史小説	11	56	青春小説	2
7	参考書/問題集	8	57	叢書/全集	2
8	触地図	8	58	タウン情報	2
9	エッセイ	7	59	地球環境	2
10	辞書・辞典・事典	7	60	聴覚障害者	2
11	スポーツ	7	61	哲学書	2
12	テキスト	7	62	点字学習	2
13	話題本	7	63	ドキュメンタリー	2
14	映画	6	64	ビジネス本	2
15	オリンピック	6	65	美容・化粧品	2
16	楽譜	6	66	表示ラベル	2
17	雑誌	6	67	ペット本	2
18	ベストセラー・人気本	6	68	民族学	2
19	医学/東洋医学	5	69	ラージ点字の本	2
20	語学	5	70	ライトノベル	2
21	自然科学	5	71	理療・鍼灸	2
22	推理小説	5	72	路線図	2
23	パソコン	5	73	金融、株式	2
24	音楽	4	74	アイドル	1
25	カラオケ歌詞/歌集	4	75	アジアの時事解説	1
26	古典	4	76	生け花	1
27	詩集	4	77	囲碁	1
28	宗教	4	78	イベント情報	1
29	手芸	4	79	占い	1
30	専門書	4	80	英語点字の本	1
31	ファッション	4	81	園芸	1
32	IT関連	3	82	演劇	1
33	宇宙	3	83	折り紙	1
34	紀行	3	84	気候と生活	1
35	社会福祉	3	85	教育	1
36	趣味・娯楽	3	86	クイズ	1
37	スイーツ	3	87	薬	1
38	伝記	3	88	経済学	1
39	点字絵本	3	89	啓発本	1
40	ノンフィクション	3	90	ゲーム	1
41	漫画	3	91	昆虫	1
42	気象、天気	3	92	山岳	1
43	英文学	2	93	産業	1
44	家電	2	94	視覚障害の本	1
45	芸能	2	95	シナリオ	1
46	健康	2	96	社会科学	1
47	言語学	2	97	将棋	1
48	交通	2	98	上下水道	1
49	災害	2	99	女性生理の本	1
50	資格試験	2	100	女性向け官能小説	1

NO.	項目	件数	NO.	項目	件数
101	シリーズもの	1	113	動植物	1
102	新刊書	1	114	懐メロ	1
103	人生訓	1	115	年表	1
104	神道	1	116	パズル	1
105	水質	1	117	番組表	1
106	製品マニュアル	1	118	物理	1
107	性問題	1	119	ブランド情報	1
108	体操	1	120	翻訳本	1
109	チェス	1	121	ミステリー	1
110	通信工学	1	122	野球	1
111	鉄道	1	123	野鳥	1
112	電子工学	1	124	ルポルタージュ	1

124もの項目が挙げられている。内容をもっと大きな分類にして集約することもできるが、ここではなるべく個々のニーズがわかるように、細かく分けている。

「文学、小説」「料理レシピ」「旅行観光」「テレビドラマの特集」「ガイドブック」などが上位に挙げられている。74位以下は、すべて1件。利用者それぞれの読みたい図書の分野は多岐にわたっていることがわかる。

3-9 生活の様々な場面で「こんなものに点字が表示されていれば便利なのに、こんな所で点字の説明があれば便利なのに」と思われることがあれば、箇条書きで書いてください。(いくつでも)

回答率 78% (231人中、179人が回答) n=179人

大分類	中分類	主な対象	点字で表示してほしいこと	件数
一般商品	食品	ビン、缶、袋	商品名、価格、商品の詳しい内容(お酒、ビール、酎ハイなど・同じ商品名でも、味の違いのあるもの)、消費期限、お酒	97
	薬	薬	薬の名前、処方箋の内容、効能、注意書き	21
	CD	CD	CD、DVDの区別 音楽CDでは、曲目の内容	5
	衣類	衣類の色や素材、サイズ、価格、洗濯方法など	点字、あるいは触ってわかるように	3
	化粧品	化粧品	化粧水や乳液などの内容	3
	日用品	歯磨き粉、シャンプー、リンスの詰め替え用	商品名、内容説明、歯磨き粉と洗顔フォームの違いなど	2
		洗剤	注意書き(同時に使用すると劇薬になってしまうもの。手が被れたりするもの)	2
防災グッズ	説明書	内容をすべて点訳	1	
家電	電化製品	電子レンジ、冷蔵庫、洗濯機、オーブントースター他各種	操作ボタンに点字表示、電源やスタート以外のボタンも表示してほしい	28
		取扱い説明書	内容をすべて点訳	27
	リモコン	家電製品、お風呂や床暖房、キッチンの操作パネル	凸点でもいいので識別可能なボタンにしてほしい	15
	スマホ、携帯、固定電話のボタン	スマホ、携帯、固定電話のボタン	ボタンの位置がわかりにくい	3
包装・容器	包装・容器	商品の開け口	商品の開け口の場所(切り取りなど)	2

大分類	中分類	主な対象	点字で表示してほしいこと	件数	
サービス	役所からのお知らせ、宅配便の不在通知、健診などの結果	送られてくる通知	差出人や内容、連絡先など	28	
	飲食店	メニュー	商品名、価格	23	
	病院、映画、博物館、美術館、観光地	入院の手続き案内、施設で配布されているパンフレット	内容をすべて点訳	17	
	お店	棚に並んでいる商品	商品名、価格の点字表示	15	
	カード	クレジットカード、ポイントカード	会社名や何のカードかわかるように	10	
	公的機関	役所からの通知、お知らせ 領収書、介護保険の計画書、明細書、健康診断の結果通知、公共料金 電報	内容をすべて点訳	9	
	役所、博物館、美術館、水族館	展示、掲示物	墨字で表示されている説明の点字墨字の併記	5	
	会議、研修会、講演会など	レジメ	聴覚障害者には手話通訳者がいるように、点字資料を用意してほしい	3	
	銀行・郵貯	預金通帳、身障手帳 残高証明	通帳、手帳の銀行名・種類	内容をすべて点訳	3
	通信販売	通販カタログ	内容をすべて点訳	2	
	スーパーなどのチラシ	新聞の折り込みチラシ	目玉商品やおすすめ商品の内容や価格	2	
	宅配業者	不在通知	業者名、連絡先	2	
	紙幣	紙幣	区別がつきにくい	2	
	お店	領収書	金額を点訳	2	
	スポーツジムや銭湯など	ロッカー	キーとロッカーに番号を付けてほしい	2	
	日本郵政	郵便ポスト	収集時間の点字表示	2	
	点字新聞	点字毎日	表紙にタイトル、号数	2	
	ホテル	ホテルの案内やアメニティの説明や内線番号など	内容をすべて点訳	1	
	電報	電報	内容をすべて点訳	1	
建物内の設備	役所、駅、デパート、ショッピングモール、ホテルなど	エレベータ	階数表示を点字だけでなく、音声も欲しい ボタンの横にフロア案内の説明文もあると良い 点字表記を義務化してほしい	13	
		案内表示・見取り図	エレベーターの位置、各種フロアの平面図、冊子の建物案内、トイレの位置、		8
		手すり	階数表示、駅などは駅の名前、ホーム番号、行先などもあったら良い		6
	トイレ	トイレのボタン、入りロピア	男女の区別、各種操作ボタン位置(特に流すボタン)、操作説明	11	
	ホテル、マンション	ドア、メールボックス	部屋番号	4	
	自宅	ブレーカー、電灯のスイッチ	ブレーカーの系統、スイッチのON/OFF	1	
	映画館	座席	座席番号	1	

大分類	中分類	主な対象	点字で表示してほしいこと	件数
交通機関	飛行機、鉄道・バスなど	バス停や駅の時刻表	時間	9
		扉	ドア、車両番号、半自動ドアの開閉ボタン	9
		座席	優先席表示、座席番号表示など	3
		トイレ	決まった場所に水を流すボタンの位置の説明文を設置してほしい(水洗スイッチ、ドアの開閉スイッチ)	2
		切符	切符の種類(特急券、乗車券など)	2
		運賃表	行先と料金	2
	タクシー	扉	号車番号、会社名	1
	市街図	地図	触図化	1
ATM、自販機、事務機など	自販機	自販機、自動券売機(チケット、切符、食券など)	ボタン、コインの投入口、お釣りの返却口、返却ボタンなどの説明値段、商品名、スイカなどの残高表示が点字で出るように	27
	ATM	郵貯・銀行のATM	ボタン位置、残高表示、操作説明方法	7
	コピー機	コピー機	ボタンに点字表示	1
合計				421

179人421件の回答があり、様々な場面の商品やサービスが挙げられた。これらの回答を一般商品、家電、包装・容器、サービス、建物内の設備、交通機関、ATM・自販機に分けて集計した。特に要望が多かったのが、缶・ビンなどの商品名、薬の名前・処方箋の内容、家電製品の操作ボタンの識別、取扱説明書、役所からの通知、不在通知、飲食店のメニュー、各施設のパンフレット、エレベータの点字・音声表示、施設内の案内表示、トレイのボタン、バス停や駅の時刻表、鉄道などの車両番号表示、座席表示、自販機のボタン・返却ボタンなどである。生活の中で、識別、操作、内容理解のできないいろいろな場面が挙げられている。ただ、20年前には、このような調査で必ずあった牛乳パック、シャンプー・リンスは、その識別の配慮が視覚障害者に十分浸透したため、今回の回答には挙げられていない。

4. 考察

- ① アンケート回答者の属性から、年齢層、男女比とも回答者231人と調査対象者600人はほぼ同じ比率であることがわかる。また、点字を書くことができる人がほぼ100%、点字図書を読める人が93%、日点を「特別支援学校を通じて」知った人が約60%であることから、先天盲の人の回答が6割近く占めると思われる。また、「知り合い」「訓練センター」「福祉事務所」などの回答は中途視覚障害者であることが考えられ、今回の調査では中途視覚障害者で点字を読み書きできるようになった人も多く含まれると考えられる。
- ② 点字図書、録音図書を両方利用する人に聞いた設問3-3の8つの設問でその使い分けがよくわかる。録音図書はニュースのような速報性のあるもの、雑誌の

ような雑学的、娯楽的な情報へのニーズが高い。これらは、広く浅い情報であり、情報量も多い。じっくり座って聞いてばかりはいられないので、通勤中や家事をしながらでも聞くことができ、しかも早聞きができる録音図書を好む人が多い。一方、学習や調べ物ものなどの、正確性を求められるもの、しっかり覚えたいものは回答者の8~9割の人が点字を選択している。ニュース性のあるものでも、人名や固有名詞を正確に把握したい場合なども点字を選択する。また、「調べもの」の際には約9割の人が「辞書」を挙げている。辞書は点字データ、紙媒体、どちらで利用するかを推測するために、点字ペンディスプレイの使用者の割合を調べてみると「辞書」と挙げた人の4割であった。まだまだ紙媒体の辞書も多く利用されているようである。尚、辞書は点字ではがさばってしまうので、コンパクトな録音図書で利用する人もいる。

- ③ 図書情報課では、話題の本や著者を紹介する「図書館からのお知らせの手紙」を毎月1回発行し、月初めに貸出図書の中に入れてある。今回の調査(設問3-6)では、回答者の35%の人がその手紙から選ぶと回答しており、一定の効果あげている。今後も、利用者に幅のある読書をしてもらうために、「図書館からのお知らせ」をさらに充実させたい。
- ④ 視覚障害者にとって日常生活で同じような形の物を識別することは、特に大きな課題である。設問2-9「普段の生活で、どのような場合に点字を使用していますか？」では、「物の識別(CD、容器、薬、本、衣類、冷凍食品、衣類の色・柄、郵便物など)」と回答した人が38人、回答者の51%を占めており、同じような物を識別するのに点字がいかに便利なのかがわかる。この点は中途視覚障害者に点字を普及させる際には是非伝えたい点である。中途視覚障害者の中には点字を難しいと考えて、最初からあきらめてしまう人がかなりいる。実際に図書を読めるようになるのは難しくても、単語程度の点字を読めるようになる人は比較的多く、そうすれば点字で物を識別することができるようになる。生活のQOLの面からも、点字は重要なツールである。
- ⑤ 設問3-9でわかるように、生活の様々な場面で点字表示が求められている。近年、共用品・共用サービス(ユニバーサルデザイン)の普及により、洗濯機のような家電商品、ビールなどの酒類の缶、電車の車内ドアへ点字表示が普及してきている。点字表示の普及は、健常者の世界への点字の広報であると共に、視覚障害者と共に生活しているということを伝えている。当館には様々なメーカーの方が相談にみえるが、今後も引き続き共用品・共用サービスの普及に協力していきたい。

5. 参考資料・・・アンケート調査表

点字利用と読書に関するアンケート調査のお願い

日頃は当館をご利用いただき、また事業にご協力をいただきありがとうございます。

点字は視覚障害者の大切な文字です。目で見える文字とその価値は同じです。しかし、近年視覚障害者の「点字離れ」が指摘されており、当館においても点字図書の利用者数、利用タイトル数ともに年々減少傾向にあります。

このような現状に鑑み、この度、点字利用者の読書意識や点字の利用実態をより詳しく把握するために、アンケート調査を実施することにいたしました。つきましては、アンケート調査へのご協力をお願いいたしたく、当館に利用登録されている方より無作為に選り調査票を送らせていただいております。

調査結果は、当館の製作図書を選定する際に活用させていただくと共に、点字図書や点字が、今後どのような使い方、使われ方が良好なコミュニケーションツールとして展開できるか、探る手がかりにできればと考えております。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、皆様のプライバシー情報保護のため、このアンケートの回答用紙は、分析終了後に責任をもって処分いたします。

平成 25 年 10 月吉日

社会福祉法人日本点字図書館
館長 天野繁隆

アンケート内容に不明な点がございましたら、以下の担当者までお問い合わせ願います。

また、その際には、「点字利用と読書に関するアンケート調査」と一言添えていただくと助かります。なお、回答は同封の返信用封筒に入れて 10 月 24 日までに投函願います。

(連絡先)

社会福祉法人 日本点字図書館 図書情報課 担当 野村、杉山
〒169-8586 東京都新宿区高田馬場 1-23-4
電話 03-3209-0241
メールアドレス tosyo@nittento.or.jp

点字利用と読書に関するアンケート調査

<回答の際のご注意>

選択回答については該当する項目に○をつけ、記述形式の回答は罫線上に記入して下さい。

まず、あなたご自身のことについて、お尋ねします。

1. 性別を教えてください。

- ① 男 ② 女

2. 年齢を次の中から選んでください。

- ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代
⑧ 80代 ⑨ その他()代

3. お住まいの地域を教えてください。

例：〇〇県〇〇市 (市または区まで結構です)

市/区

4. 該当する障害程度等級を教えてください。

- ① 1級 ② 2級 ③ 3級 ④ 4級 ⑤ 5級 ⑥ 6級 ⑦ 手帳を持っていない

5. 墨字文書を読むことができますか？

- ① 読めない
② ルーペ、拡大読書器などを使って読むことができる

6. 日本点字図書館をどのようにして知りましたか？ 次の中から該当するものをいくつかでも選んでください。

- ① 眼科医を通じて
② 訓練センターを通じて
③ 福祉事務所を通じて
④ 視覚特別支援学校(盲学校)を通じて
⑤ インターネット
⑥ 知り合いを通じて
⑦ その他(具体的に)

7. 日本点字図書館のどのようなサービスを利用していますか？次の中から該当するものをいくつでも選んでください。

- ① 点字図書、録音図書の貸出やダウンロードサービス
 - ② 読みたい本を探すレファレンスサービス
 - ③ 読みたい本を点字、あるいは録音図書にするプライベートサービス
 - ④ 点字の読み書きを学ぶ点字教室
 - ⑤ 音声ソフトを使ってパソコン操作を学ぶパソコン教室
 - ⑥ 生活に便利な用具を取り扱っている「わくわく用具ショップ」
 - ⑦ 価格差補償制度を利用した点字図書の購入
 - ⑧ その他（具体的に）
-
-

8. 点字を書くことができますか？

- ① はい
- ② いいえ

これより点字に関する質問です。点字が読めない方でも、設問 10 まで回答願います。

9. 点字をどの程度、読むことができますか？ 次の中から該当するものを一つだけ選んでください。

- ① 読めない
- ② 簡単なメモや識別ラベル、手すりの点字程度までなら読める
- ③ 手紙やお知らせ程度までなら読める
- ④ 点字図書が読める

10. 設問9で「① 読めない」と回答した方にお尋ねします。その理由を次の中から一つだけ選んでください。

- ① 点字が難しそうだから
 - ② 取り組んでみたが、習得できなかった
 - ③ 読めるようになりたいが、学習のチャンスがなかったから
 - ④ 必要と思わないから
 - ⑤ その他（具体的に）
-
-

設問9で「① 読めない」と回答された方は、以上でアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。

設問9で②、③と回答した、少しでも点字を読むことができる方にお尋ねします。

1 1. 普段の生活で、どのような場合に点字を使用していますか？ 具体的に書いてください。

例：メモ（電話番号、約束）

間違いやすい容器、CD、図書などの識別

1 2. 点字図書（点字データも含む）、録音図書の利用についてお尋ねします。
利用状況を次の中から一つだけ選んでください。

- ① どちらも利用している
- ② 点字図書（点字データも含む）のみ利用している
- ③ 録音図書のみ利用している
- ④ 点字図書（点字データも含む）をかつて利用していたが、1年以上利用していない
- ⑤ 録音図書をかつて利用していたが、1年以上利用していない
- ⑥ どちらも利用していない

1 3. 設問12で「④ 点字図書をかつて利用していたが、1年以上利用していない」と回答した方にお尋ねします。点字図書をしばらく利用していない理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- ① 点字を読むのが大変になった
- ② 録音図書を利用しているので、点字を読まなくても読書ができる
- ③ 借りた点字本を返すのに郵便局まで持っていくのが大変なので
- ④ その他（具体的に）

点字図書を利用していない方は、設問20へお進みください。

14. 設問12で「① どちらも利用している」と回答した方にお尋ねします。
以下の①～⑦の場面で、点字図書、録音図書が両方ある場合にどちらを利用するかを選び、具体例とその理由を書いてください。

<回答例> ① 何度も読み返したいもの

ア：点字図書（点字データも含む） イ：録音図書

具体例 料理のレシピ

理由 レシピは点字の方が探しやすいので

① 何度も読み返したいもの

ア：点字図書（点字データも含む） イ：録音図書

具体例 _____

理由 _____

② ニュース性を求めるもの

ア：点字図書（点字データも含む） イ：録音図書

具体例 _____

理由 _____

③ 情報の正確性を求めるもの

ア：点字図書（点字データも含む） イ：録音図書

具体例 _____

理由 _____

④ 学習のためのもの

ア：点字図書（点字データも含む） イ：録音図書

具体例 _____

理由 _____

⑤ 調べ物のためのもの

ア：点字図書（点字データも含む） イ：録音図書

具体例 _____

理 由 _____

⑥ 趣味・娯楽のためのもの（小説、エッセイなどの文学）

ア：点字図書（点字データも含む） イ：録音図書

具体例 （ジャンル、著者など） _____

理 由 _____

⑦ 趣味・娯楽のためのもの（文学を除く）

ア：点字図書（PCでのデータ利用を含む） イ：録音図書

具体例 _____

理 由 _____

⑧ その他

①～⑦以外に、録音図書より点字図書を利用する時があれば、具体例、理由を書いてください。

具体例 _____

理 由 _____

15. 普段、点字で読書をしている方にお尋ねします。点字図書・雑誌の読書ペースについてお尋ねします。該当するものを次の中から一つだけ選んでください。

- ① 月に1タイトル以下
- ② 月に2、3タイトルくらい
- ③ 月に4タイトル以上

16. 普段、点字で読書をしている方にお尋ねします。どのような方法で読書をしていますか？ 該当するものを次の中からいくつでも選んでください。

- ① 点字図書館などに所蔵している点字図書や雑誌を借りている
 - ② 点字データを紙にプリントアウトしている
 - ③ 点字データをピンディスプレイで表示させている
 - ④ 点字データを合成音声などで読み上げさせている
 - ⑤ その他（具体的に）
-
-

17. 設問16で「① 点字図書館などに所蔵している点字図書や雑誌を借りている」と回答した方にお尋ねします。借りる点字図書をどのように選んでいますか。該当するものを次の中からいくつでも選んでください。

- ① 読みたい本が決まっているので、図書館に所蔵があるか直接問い合わせている
 - ② 図書館の新刊図書案内の中から選ぶ
 - ③ 図書館の蔵書目録から選ぶ
 - ④ 図書館からのお知らせの手紙から選ぶ
 - ⑤ サピエ図書館の新着情報から選ぶ
 - ⑥ 図書館員に相談して選ぶ
 - ⑦ その他（具体的に）
-
-

18. 墨字新刊図書の情報は、どこで入手していますか？ 該当するものを次の中からいくつでも選んでください。

- ① テレビ ② ラジオ ③ インターネット ④ ブックウェーブ（に
ってんデイジーマガジン） ⑤ その他（具体的に）
-

19. どのような分野の点字図書を充実してほしいですか？

回答例：料理のレシピ、旅行ガイドブック、オリンピックや人気ドラマなどの特集号

20. 生活の様々な場面で「こんなものに点字が表示されていれば便利なのに、こんな所で点字の説明があれば便利なのに」と思われる事があれば箇条書きで具体的に書いてください。(いくつでも)

質問は以上です。回答していただきありがとうございました。